第16回　政策研究レビューセミナー(2024.11.11)

地域イノベーションと大学の地域貢献に関するアンケート調査について

文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)
第2調査研究グループ　上席研究官
松本泰彦

目次

1.　背景

✓ 地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ

✓ 大学別産学連携に係る指標

✓ 既存の大学の地域貢献度調査

2.　地域イノベーションと大学の地域貢献に関するアンケート調査

✓ アンケート調査の概要

✓ 回答状況

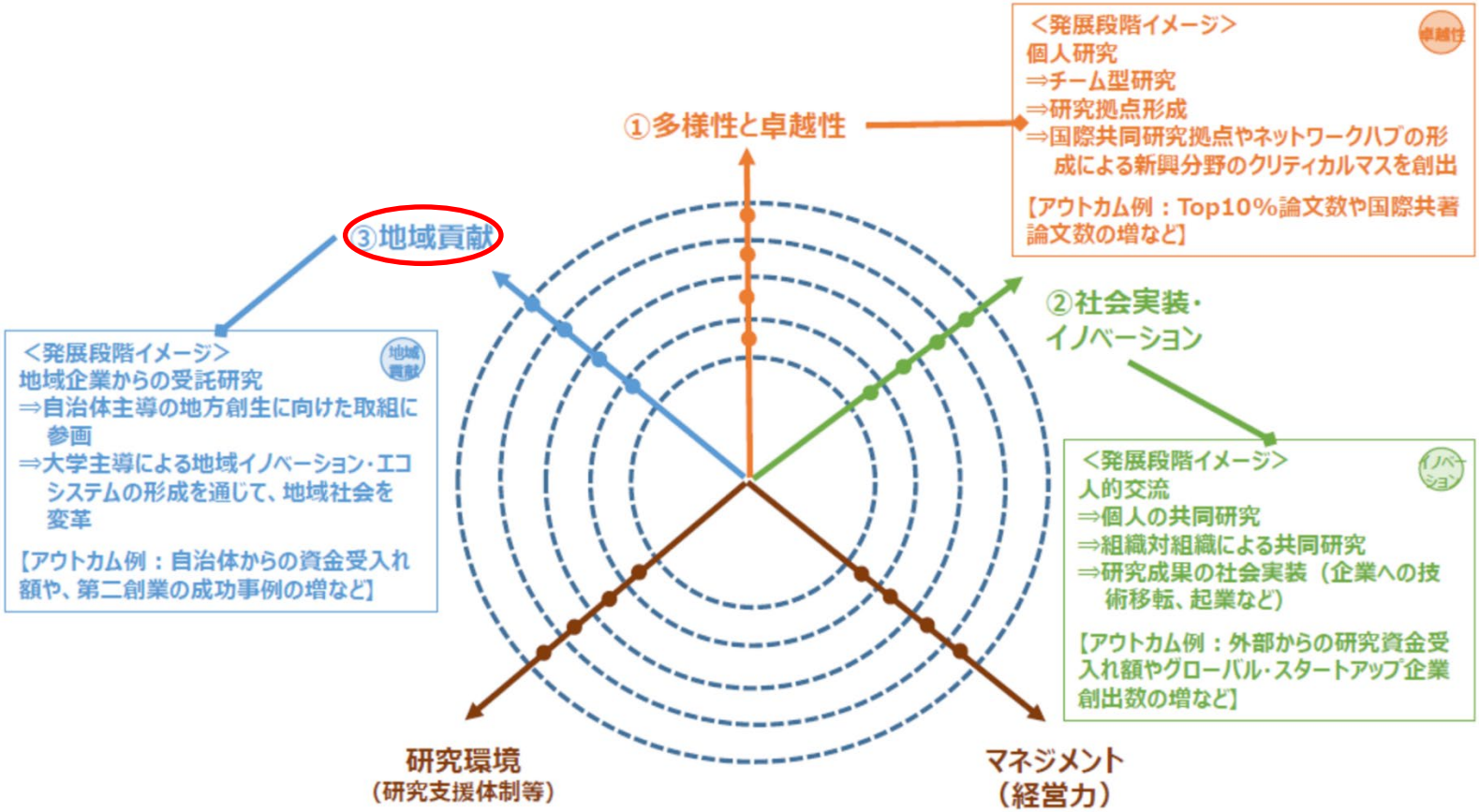
✓ まとめ

NISTEP
NATIONAL INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY POLICY

1．背景

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ

令和5年2月8日、内閣府が「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」において大学に求められる『機能』として、地域貢献の評価軸が示されたことから科学技術分野における大学の地域貢献に関して調査を開始した。

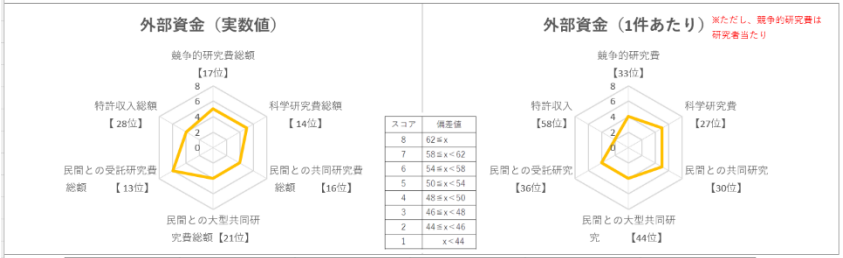


内閣府HPより：https://kagi01-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/kagisoukatsu1_kagi01_onmicrosoft_com/ESaTyRFEv8pAlBf1cmsC9PEBOxEim9V5-Y7G2P5YSVwg1g?e=Frlep6

大学別産学連携に係る指標

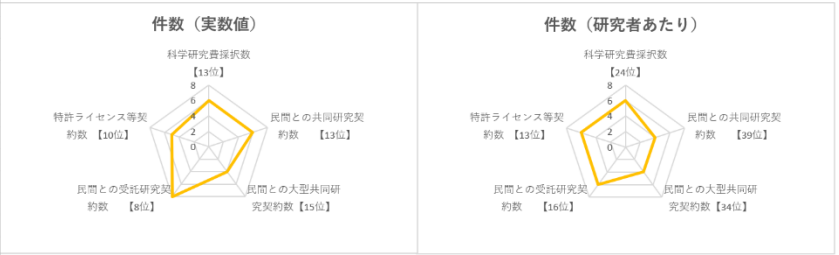
当グループでは国立大学における産学連携の現況を把握することを目的とし、公開されているデータより、レーダーチャート及びグラフ等を作成しているが、「共同研究における県内企業数」以外に地域貢献の指標とみなせるものは見当たらなかった。

千葉大学　←大学名　国立86大学中の順位



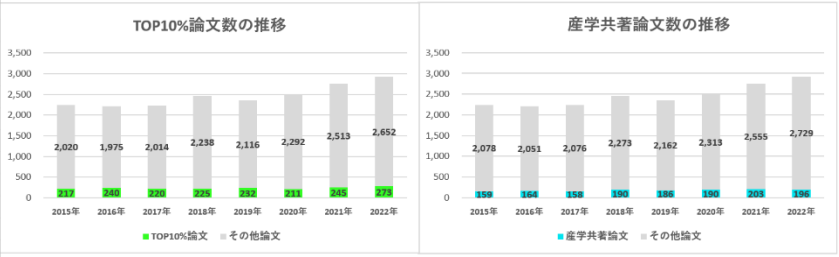
＜実数＞

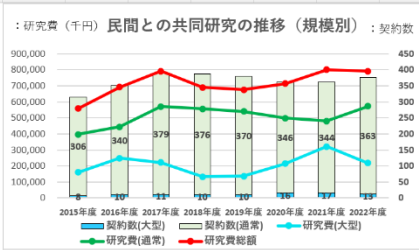
競争的研究費総額【17位】	科学研究費総額【14位】	民間との共同研究費総額【16位】	民間との大型共同研究費総額【21位】	民間との受託研究費総額【13位】	特許収入総額【28位】
2,816百万円	2,415百万円	791百万円	219百万円	135百万円	17百万円

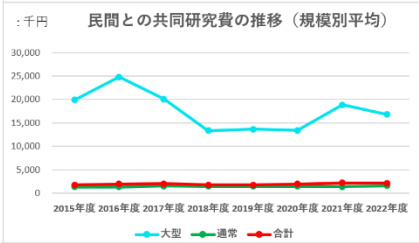


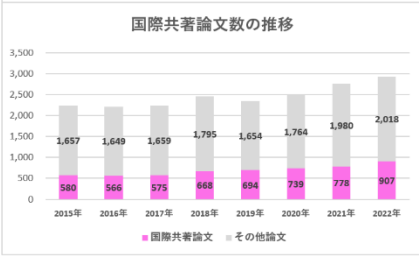
＜実数＞

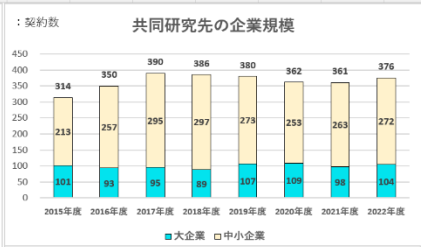
科研費応募資格を持つ研究者数	科学研究費採択数【13位】	民間との共同研究契約数【13位】	民間との大型共同研究契約数【15位】	民間との受託研究契約数【8位】	特許ライセンス等契約数【10位】
1,823	950	376	13	94	448

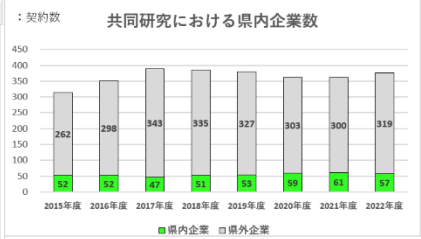


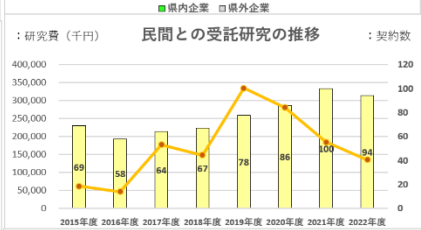


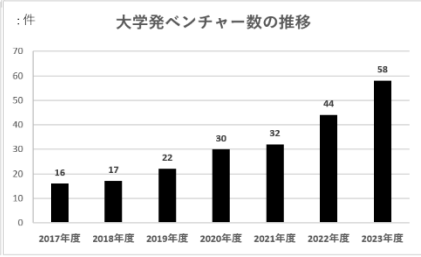












・文部科学省　産学連携等実施状況調査データ
・経済産業省　大学発ベンチャー実態等調査データ
・学術振興会　科学研究費助成事業データ
・Elsevier　SciVal論文データベース
を基に作成

既存の大学の地域貢献度調査

- ✓ 日経新聞社が、2006年から断続的に、**全国の国公私立大学を対象**に、大学が地域社会にどのような貢献をしているかを調査した結果を、日経グローカルにおいて「大学の地域貢献度ランキング」として発表している。

- ✓ Times Higher Education（以下「THE」）が大学インパクトランキングにおいて、大学の社会に与える貢献をSDGｓの観点から、それぞれの開発目標ごとにアンケート項目を設定し、**大学にアンケート調査**を行った結果を発表している。

課題

- ✓ 日経グローカル、THEともに**大学へのアンケート調査を行ったもの**である。各設問に対して各大学が該当するであろう取り組みを主体的に考え回答するもので、その回答がステークホルダー側に「地域貢献」と捉えられているか疑問が残る。

NISTEP
NATIONAL INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY POLICY

２．地域イノベーションと大学の地域貢献に関するアンケート調査

大学の地域貢献に関する意識調査

産学官連携における大学のステークホルダーに対して、**これまでの産学官連携の内容や連携で感じたこと、大学への期待など**に関して意識調査を行うことで、大学の地域貢献を示す指標に繋がる項目を調査した。

１．目的

地域イノベーションシステムの状況を明らかにするため、多様な地域のステークホルダーに大学との各種連携に係るアンケート調査を行うこと等により、**多様な地域のステークホルダーと大学との各種連携に係る実態を把握する**とともに、それを分析することにより、**大学の地域貢献を示す指標の示唆を得る**。

２．内容

〇アンケート調査

- 対象

地域企業（経済産業省が認定している地域未来牽引企業）、都道府県庁、政令指定都市、財団法人、公設試験研究機関、金融機関の産学連携を担当する部署（5,643機関）

- 調査方法

Webまたは調査票郵送によるアンケート調査

- 質問項目

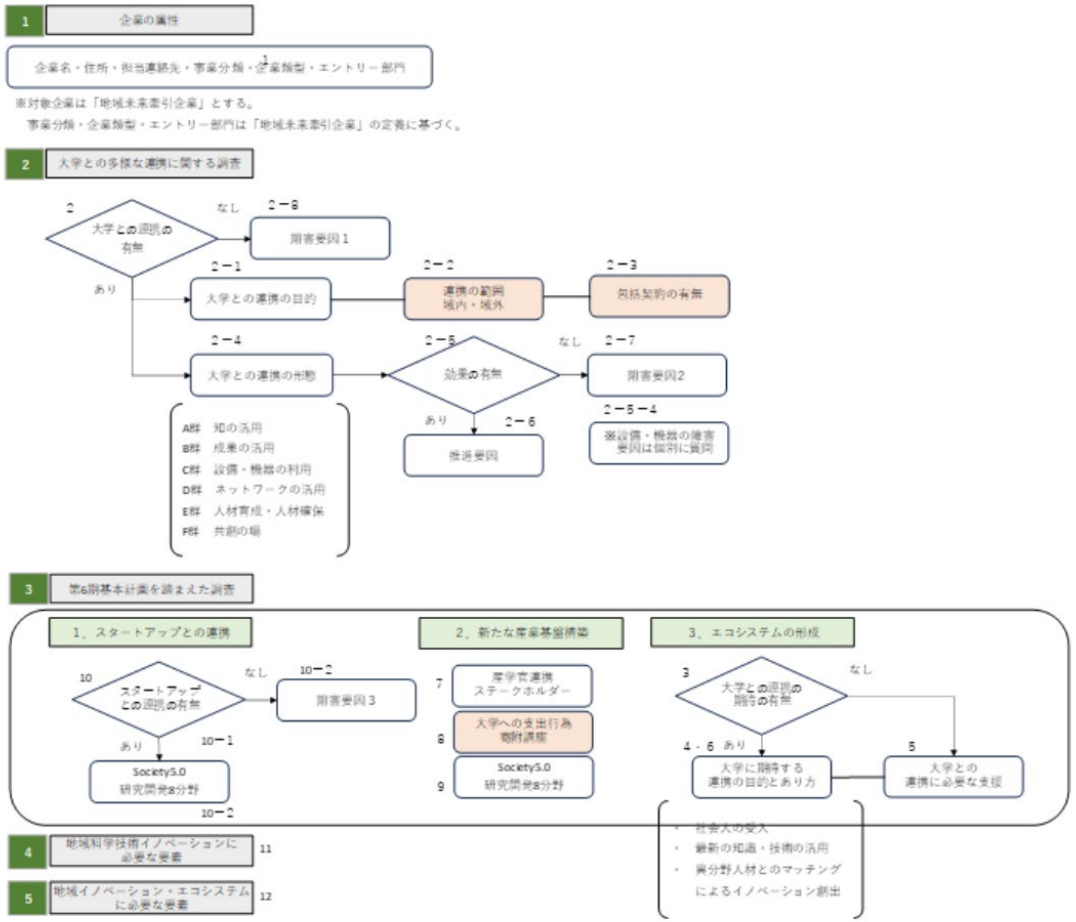
（I）　大学との連携の有無、その在り方
（II）　大学からの人材確保の有無、その在り方
（III）　大学の施設・設備の活用の有無、その在り方　等

３県の各機関に補足ヒアリング

既存の大学の地域貢献度調査

質問票の設計

多くの機関から回答を得るべく質問内容を厳選するとともに、webアンケートを活用し短時間で回答が出来るよう設計を行った。



大学の地域貢献に関する意識調査

企業アンケート票

【企業】向けアンケート調査内容（サンプル）

（アンケート調査の目的）
本調査は、「地域イノベーションシステム」の状況を明らかにすることを目的としています。地域未来牽引企業の皆さまをはじめ、地方自治体・地方自治体などが設置している財団法人（以下「財団」という）・公設試験研究機関（以下「公設試」という）・金融機関など多様な地域のステークホルダーと大学との連携に係る実態を把握することで、「大学の地域貢献」を示す指標を得ることをねらいとしています。

（回答者の属性）
質問１　以下の項目についてお答えください。
（１）貴社名
（２）ご住所
（３）ご回答者の連絡先（所属・役職名・氏名・連絡先（電話番号・E-mail））
（４）「地域未来牽引企業」における貴社の企業類型をお答えください。
a.　グローバル型　b.　サプライチェーン型　c.　地域資源型　d.　生活インフラ関連型
e.　わからない
（５）「地域未来牽引企業」の応募では、どちらの部門としてエントリーされたかお聞かせください。
a.　推薦部門　b.　データ部門　c.　わからない

［大学との多様な連携に関する質問］
質問２　大学との連携についてお伺いします。これまでに大学と連携したこと（接点・関わりを持ったこと）がありますか。
a.　はい　b.　いいえ　c.　わからない
※「いいえ」「わからない」と回答された方は質問２－８へ

質問２で「はい」と回答された方にお伺いします。
質問２－１　主にどのようなことを目的に大学と連携してきましたか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）
a.　新製品開発　b.　新技術開発　c.　プロセス開発　d.　品質評価　e.　新規事業創出
f.　技術シーズの探索・関連技術の情報収集　g.　ビジョンの達成
h.　新たな産業創出　i.　SDGs 課題解決　j.　地方創生　k.　社内人材の育成・確保
l.　その他（具体的に　　）

質問２－２　連携（接点・関わりを持ったこと）した大学は、地域内と地域外のいずれに所在しますか。
ここでの「地域」とは貴社が所在する都道府県を言います。
a.　地域内　b.　地域外　c.　両方　d.　わからない

質問２－３　大学と連携に関する協定を締結していますか。
a.　地域内の大学と締結している
b.　地域外の大学と締結している
c.　地域内外両方の大学と締結している　d.　締結していない　e.　わからない

質問２－４　大学との連携は具体的にどのようなものでしたか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a.　共同研究　b.　調査・研究委託　c.　技術相談・学術指導
d.　国や地方自治体の補助金によるプロジェクト　e.　講演依頼
f.　特許・ノウハウの活用　g.　成果物の活用　h.　大学発ベンチャー※との連携
i.　設備・機器の利用
j.　コンソーシアム・研究会への参加　k.　シンポジウム・セミナーへの参加
l.　研究人材の確保　m.　人材交流・人材育成　n.　インターンシップ　o.　採用
p.　SDGs に向けた取組　q.　その他（具体的に　　）
r.　わからない・答えたくない

※「大学発ベンチャー」とは、大学で達成された研究成果に基づく特許や新たな技術・ビジネス手法を事業化する目的で新規に設立されたベンチャーを言います。

質問２－５　大学と連携した（接点・関わりを持った）結果（効果）は如何でしたか。それぞれの連携のカテゴリーごとにお答えください。
質問２－５－１
A 群　知の活用（a.　共同研究　b.　調査・研究委託　c.　技術相談・学術指導　d.　国や地方自治体の補助金によるプロジェクト　e　講演依頼）などで連携された場合
a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　A 群の連携はなかった

質問２－５－２
B 群　成果の活用（f.　特許・ノウハウの活用　g.　成果物の活用　h.　大学発ベンチャーとの連携）などで連携された場合
a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　B 群の連携はなかった

質問２－５－３
C 群　設備・機器の活用（i.　設備・機器の利用）などで連携された場合
a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　C 群の連携はなかった

大学の地域貢献に関する意識調査

※「期待以上の結果が得られた」「期待した結果が得られた」「C群の連携はなかった」と回答された方は、質問２－５－５へ

質問２－５－３で「期待した結果が得られなかった」と回答された方にお伺いします。
質問２－５－４　大学保有の設備機器を利用する場合、課題として挙げられるのは何ですか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a.　マシンタイムが一杯で予約が取りにくい
b.　高度な設備機器のため専任のオペレーターが必要
c.　利用料が高い
d.　どの様な設備があるかよくわからない
e.　その他（具体的に　　）
f.　とくにない・わからない

質問２－５－５
D 群　ネットワークの活用（j.　コンソーシアム・研究会への参加　k.　シンポジウム・セミナーへの参加）などで連携された場合

a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　D群の連携はなかった

質問２－５－６
E 群　人材育成・人材の確保（l.　研究人材の確保　m.　人材交流・人材育成　n.　インターンシップ　o.　採用）などで連携された場合

a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　E群の連携はなかった

質問２－５－７
F 群　SDGs 関係（p.　SDGs に向けた取組）などで連携された場合

a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　F群の連携はなかった

質問２－５－８
その他（q.　その他）などで連携された場合

a.　期待以上の結果が得られた　b.　期待した結果が得られた
c.　期待した結果が得られなかった　d.　その他で記載の連携はなかった

※質問２－５の A～F 群すべてにおいて「期待した結果が得られなかった」と回答された方は、２－７へ

質問２－５の A～F 群において一つでも「期待以上の結果が得られた」または「期待した結果が

得られた」と回答された方にお伺いいたします。
質問２－６　大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。以下の①～⑩のそれぞれの項目についてお答えください。（あてはまるものをチェックしてください。）

①　大学に産学連携のワンストップサービスなどの相談窓口があること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

②　利便性の良い場所に大学と地域の活動拠点があること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

③　研究テーマや知的財産の情報に関して、外部から簡便にアクセスできること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

④　目的としていた大学の研究成果（シーズ）が、活用しやすいライセンス条件であること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑤　大学に分析機器など高度な設備・機器があること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑥　大学に専門家・スタッフによるサポート体制があること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑦　大学との共同研究・研究会などにおいて人的交流があること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑧　大学に地域連携を促進するための情報を収集・発信する体制があること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑨　大学と連携した補助金・助成制度が活用できること
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

大学の地域貢献に関する意識調査

⑩　その他、期待した結果が得られた理由がある場合は、以下にご記入ください。
（具体的に　　）

質問２－５の A～F 群において一つでも「期待した結果が得られなかった」と回答された方にお伺いいたします。
質問２－７　大学との連携で、期待した結果が得られなかった要因にはどのようなことがありますか。以下の①～⑩のそれぞれの項目についてお答えください。（あてはまるものをチェックしてください。）

①　大学に産学連携のワンストップサービスなどの相談窓口がないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

②　利便性の良い場所に大学と地域の活動拠点がないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

③　研究テーマや知的財産の情報に関して、外部から簡便にアクセスができないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

④　目的としていた大学の研究成果（シーズ）が、活用しやすいライセンス条件でないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑤　大学に分析機器など高度な設備・機器がないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑥　大学の専門家・スタッフによるサポート体制が十分でないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑦　大学との共同研究・研究会などにおいて人的交流があまりないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑧　大学に地域連携を促進するための情報を収集・発信する体制が十分でないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない

f. わからない

⑨　大学と連携した補助金・助成制度が活用できないこと
a. 影響した　b. やや影響した　c. どちらともいえない　d. あまり影響しない　e. 影響しない
f. わからない

⑩　その他、期待した結果が得られなかった理由がある場合は、以下にご記入ください。
（具体的に　　）
※質問３へ

質問２で「いいえ」「わからない」と回答された方にお伺いします。
質問２－８　これまで大学との連携がなかった理由についてお伺いします。主な理由について該当する項目をチェックしてください。

a.　とくに機会がなかった　　b.　連携の必要性を感じない
c.　大学が近くにない　　d.　連携したい大学が見つからない
e.　連携したいが窓口がわからない
f.　自社の研究開発方針や事業戦略等と一致しない
g.　その他（具体的に　　）
h.　とくにない・わからない

［第６期基本計画を踏まえた調査］
第６期 科学技術・イノベーション基本計画（令和３年３月 26 日閣議決定）では、「価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成」のため、社会のニーズを原動力として課題の解決に挑むスタートアップを次々と生み出し、企業、大学、公的研究機関等が多様性を確保しつつ相互に連携して価値を共創する新たな産業基盤が構築された社会を目指すとしています。これに関して、以下の質問にお答えください。

質問３　将来（または、これからも）大学と連携したいと思いますか。
a.　そう思う　b.　ややそう思う（連携に興味がある）　c.　どちらともいえない　d.　あまりそう思わない（連携に興味がない）　e.　思わない　f. わからない
※「どちらともいえない」「あまり興味がない」「思わない」と回答された方は質問７へ

質問３で「そう思う」「興味はある」と回答された方にお伺いします。
質問４　将来、大学と主にどのようなことを目的に連携したい（接点・関わりを持ちたい）と思いますか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a.　新製品開発　b.　新技術開発　c.　プロセス開発　d.　品質評価　e.　新規事業創出
f.　技術シーズの探索・関連技術の情報収集　g.　ビジョンの達成
h.　新たな産業創出　i.　SDGs 課題解決　j.　地方創生　k.　社内人材の育成・確保
l.　その他（具体的に　　）

大学の地域貢献に関する意識調査

質問５　将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。（あてはまるものをチェックしてください。）

①　財団や公設試などにおける相談窓口の設置
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

②　大学外の機関に属する大学と企業をつなぐ専門家コーディネーター人材
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

③　大学内で研究者と企業をつなぐ専門家・スタッフ（URA）
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

④　社内における研究・開発体制構築のための人材の獲得
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

⑤　大学の研究の価値が分り易い研究成果のシーズ集（パンフレット等）
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

⑥　地方自治体や金融機関による開発資金の支援
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

⑦　社内の課題に関して気軽に相談できる大学における「技術指導」・「学術指導」等制度
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

⑧　各自治体の新産業創出ビジョン等を踏まえた大学の取り組み
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

⑨　地域産学官連携ネットワークの構築
a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

⑩　その他、必要なことがありましたら、以下にご記入ください。
（具体的に　　）

質問６　地方創生のハブを担う大学との連携のあり方として、貴社はどのようなことを期待しますか。（あてはまるものをチェックしてください。）

①　企業に所属する専門人材の研究室への受入
a.　期待する　b.　やや期待する　c.　どちらでもない　d.　あまり期待しない　e.　期待しない　f. わからない

②　大学の最新の知識・技術の活用
a.　期待する　b.　やや期待する　c.　どちらでもない　d.　あまり期待しない　e.　期待しない　f. わからない

③　自社の事業領域と異なる大学の異分野研究者とのマッチングによるイノベーション創出
a.　期待する　b.　やや期待する　c.　どちらでもない　d.　あまり期待しない　e.　期待しない　f. わからない

④　大学の知を活用した生産性向上支援
a.　期待する　b.　やや期待する　c.　どちらでもない　d.　あまり期待しない　e.　期待しない　f. わからない

質問７　貴社において、技術や製品・サービスおよび人材獲得における課題や事業の新規立ち上げなどにおいて、外部との相談が必要な場合、主に誰に（どの機関に）相談していますか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a.　公設試　b.　財団　c.　技術研究組合（CIP）
d.　他の企業　e.　大学　f.　高等専門学校　g.　大学発ベンチャー
h.　金融機関　i.　コンサルティング会社　j.　NGO・NPO
k.　経済連合会・商工会議所　l.　農林水産関係の団体　m.　中小企業基盤整備機構
n.　国立研究開発法人　o.　国の機関（府省庁）　p.　最寄りの自治体
q.　その他（　　）　r.　とくにない・わからない

質問８　技術課題や新規事業立ち上げなどにおける大学との連携で負担し得る支出についてお伺いします。大学と連携する場合、想定する支出について該当する項目をチェックしてください。
a. 共同研究費　b. 受託研究費　c. 奨学寄附金　d. 技術相談費　e.支出は考えていない
f. わからない

質問９　新規事業や新たな産業基盤の構築に向けて、貴社が特に注力している分野はありますか。

大学の地域貢献に関する意識調査

（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a. ライフサイエンス分野　b. 情報通信分野
c. 環境分野　d. 物質・材料分野
e. ナノテクノロジー分野　f. エネルギー分野
g. 宇宙開発分野　h. 海洋開発分野
i. AI 技術分野　j. バイオテクノロジー分野
k. 量子技術分野
l. その他（　　）　m. とくにない・わからない

質問 10　大学発ベンチャーとの連携についてお伺いします。貴社はこれまでに大学発ベンチャーと連携したこと（接点・関わりを持ったこと）がありますか。

a. はい　b. いいえ　c. わからない

※「いいえ」「わからない」と回答された方は質問 10－２へ

質問 10 で「はい」と回答された方にお伺いします。

質問 10－１　大学と連携した大学発ベンチャー創出や事業化のための支援に際して、特に注力している分野はありますか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a. ライフサイエンス分野　b. 情報通信分野
c. 環境分野　d. 物質・材料分野
e. ナノテクノロジー分野　f. エネルギー分野
g. 宇宙開発分野　h. 海洋開発分野
i. AI 技術分野　j. バイオテクノロジー分野
k. 量子技術分野
l. その他（　　）　m. とくにない・わからない

※質問 11 へ

質問 10 で「いいえ」「わからない」と回答された方にお伺いします。

質問 10－２　大学発ベンチャーと連携していない理由についてお伺いします。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）

a. とくに機会がなかった　b. 支援の必要性を感じない
c. 大学発ベンチャー企業が近くにない
d. 支援したい大学発ベンチャー企業が見つからない
e. 支援したいが担当窓口がわからない
f. 自社の研究開発方針や事業戦略等と一致しない
g. その他（具体的に　　）　h. とくにない・わからない

質問 11　国や地方自治体の施策として、持続的な地域科学技術イノベーション創出に必要な要素について伺います。どのようなことが重要とお考えですか。（あてはまるものをチェックしてください。）

① イノベーションを目指した構想を描き、関係者を巻き込むコーディネーター人材及びその育成

a. 重要　b. やや重要　c. どちらでもない　d. あまり重要でない　e. 重要でない　f. わからない

② 技術シーズを用いて競争力ある事業を立案できる人材及びその育成

a. 重要　b. やや重要　c. どちらでもない　d. あまり重要でない　e. 重要でない　f. わからない

③ イノベーションを生み出すための施設・設備等の環境整備

a. 重要　b. やや重要　c. どちらでもない　d. あまり重要でない　e. 重要でない　f. わからない

④ 地域イノベーションに取り組むための予算の確保

a. 重要　b. やや重要　c. どちらでもない　d. あまり重要でない　e. 重要でない　f. わからない

⑤ その他、必要だと思われることがありましたら、以下にご記入ください。

（具体的に　　）

質問 12　大学の知的資産（研究成果・特許やノウハウ・設備機器・人材・ネットワークなど）を活用して、地域産業が発展していくために貴社が必要だと感じるものとして、貴社の考えに近いものはどれですか。（あてはまるものをチェックしてください。）

① 地方自治体による科学技術・イノベーション政策に係る支援体制の強化

a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

② 地域イノベーション戦略を担うコーディネーター人材の育成・確保

a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

③ 継続的に技術シーズを生み出すためのサイエンス基盤の強化

a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

④ 民間企業、金融機関等からの投資の活性化

a. 必要　b. やや必要　c. どちらでもない　d. あまり必要ない　e. 必要ない　f. わからない

大学の地域貢献に関する意識調査

⑤　大学等と民間企業、VC（投資会社）や投資家のマッチングの場の提供
a.　必要　b.　やや必要　c.　どちらでもない　d.　あまり必要ない　e.　必要ない　f. わからない

⑥　大学や地域、民間企業等による起業支援体制の整備
a.　必要　b.　やや必要　c.　どちらでもない　d.　あまり必要ない　e.　必要ない　f. わからない

⑦　海外クラスターとの連携強化
a.　必要　b.　やや必要　c.　どちらでもない　d.　あまり必要ない　e.　必要ない　f. わからない

⑧　国による大学の技術シーズを引き出す地域科学技術支援施策の強化・継続
a.　必要　b.　やや必要　c.　どちらでもない　d.　あまり必要ない　e.　必要ない　f. わからない

⑨　その他、必要だと思われることがありましたら、以下にご記入ください。
（具体的に　　）

質問 13　ご回答頂きましたアンケート調査内容につきまして、より詳しくご意見をお伺いする可能性がございます。後日、貴社へのヒアリングを希望する場合、ご協力頂けるかどうかについてお伺いします。
a.　協力する　b.　協力は難しい　c.　わからない

以　上

大学の地域貢献に関する意識調査

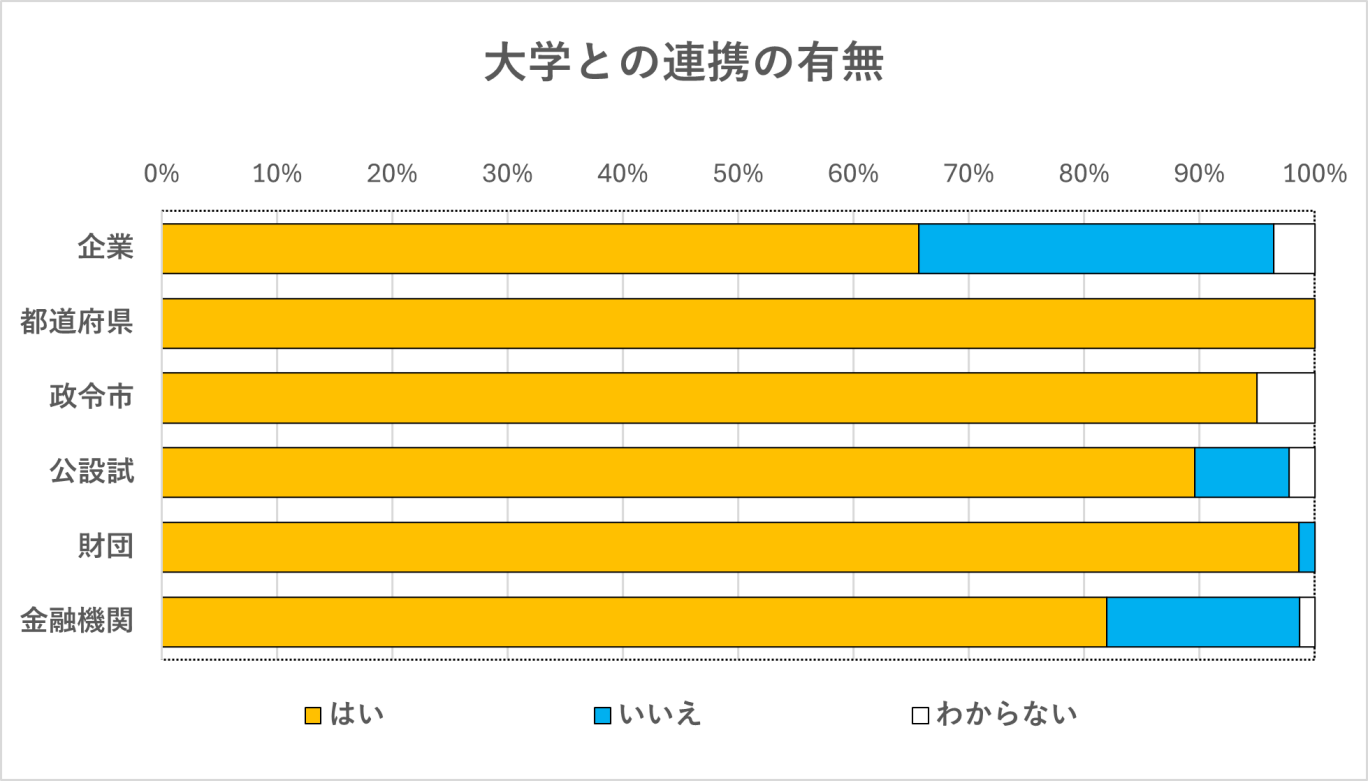
再回答等による重複を整理したところ、回収率は以下のような結果となった。

機関区分	アンケート機関区分	対象件数	回収数	回収率
地域企業	企業	4,727	1,709	36%
都道府県、政令指定都市	地方自治体	67	67	100%
財団	地方自治体	79	73	92%
公設試験研究機関	地方自治体	416	358	86%
銀行	金融機関	354	227	64%
合計		5,643	2,432	43%

大学の地域貢献に関する意識調査

回答があった各機関区分において、それぞれ６５％以上が大学との連携実績を有していた。

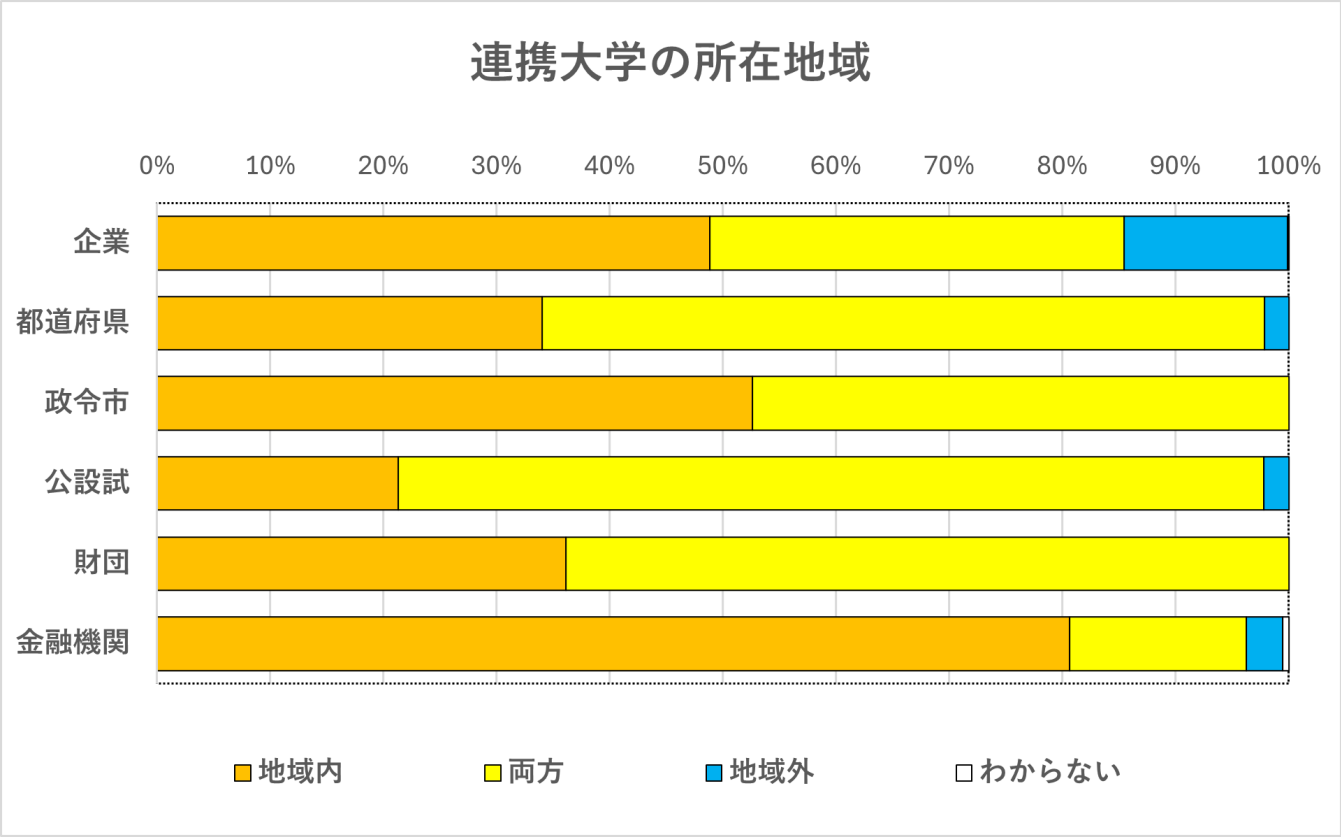
Q:大学との連携についてお伺いします。これまでに大学と連携したこと（接点・関わりを持ったこと）がありますか。



大学の地域貢献に関する意識調査

連携した実績を有する各機関において、これまで連携した大学の所在を確認した。

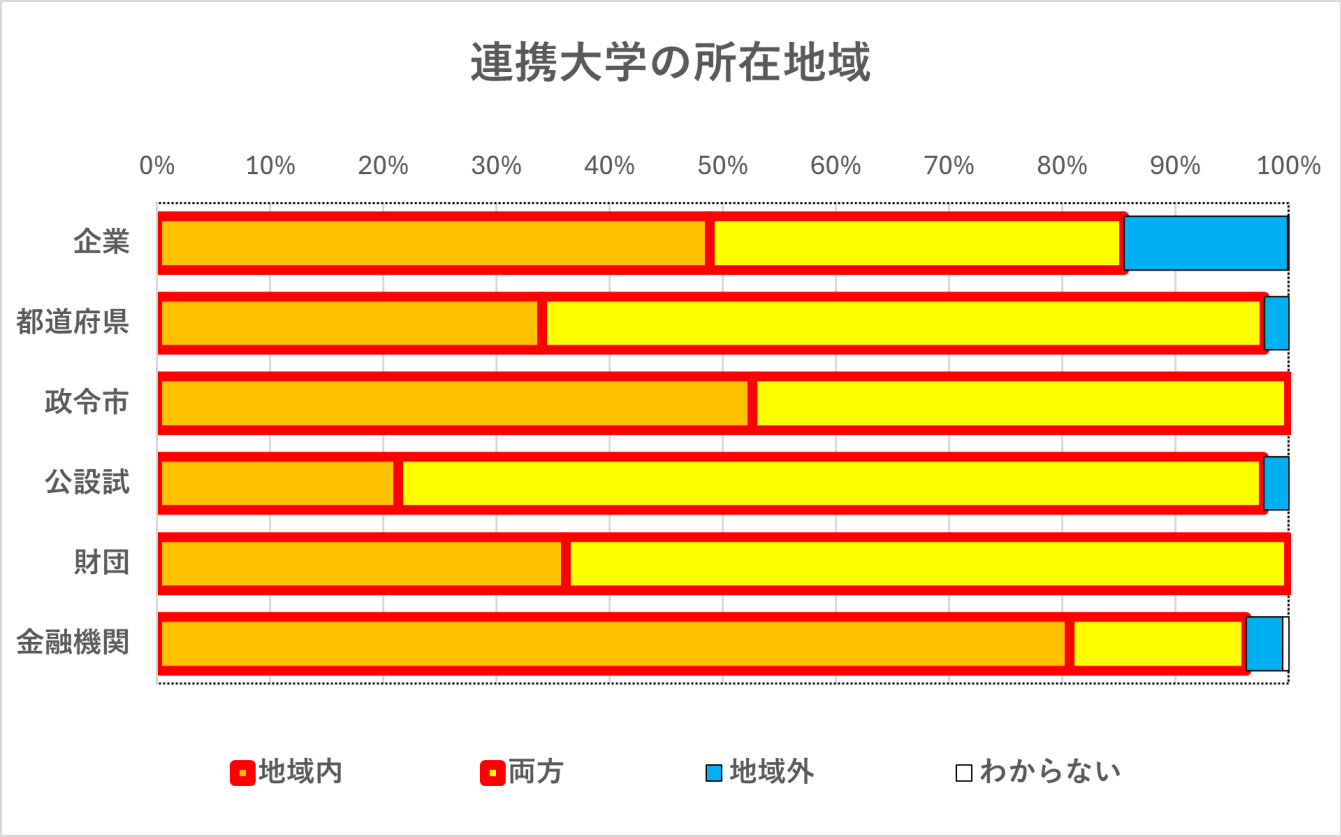
Q:連携（接点・関わりを持ったこと）した大学は、地域内と地域外のいずれに所在しますか。
ここでの「地域」とは貴機関が所在する都道府県を言います。



大学の地域貢献に関する意識調査

各機関区分において、それぞれ８５％以上が地域内の大学と連携していることが分かった。

Q:連携（接点・関わりを持ったこと）した大学は、地域内と地域外のいずれに所在しますか。
ここでの「地域」とは貴機関が所在する都道府県を言います。

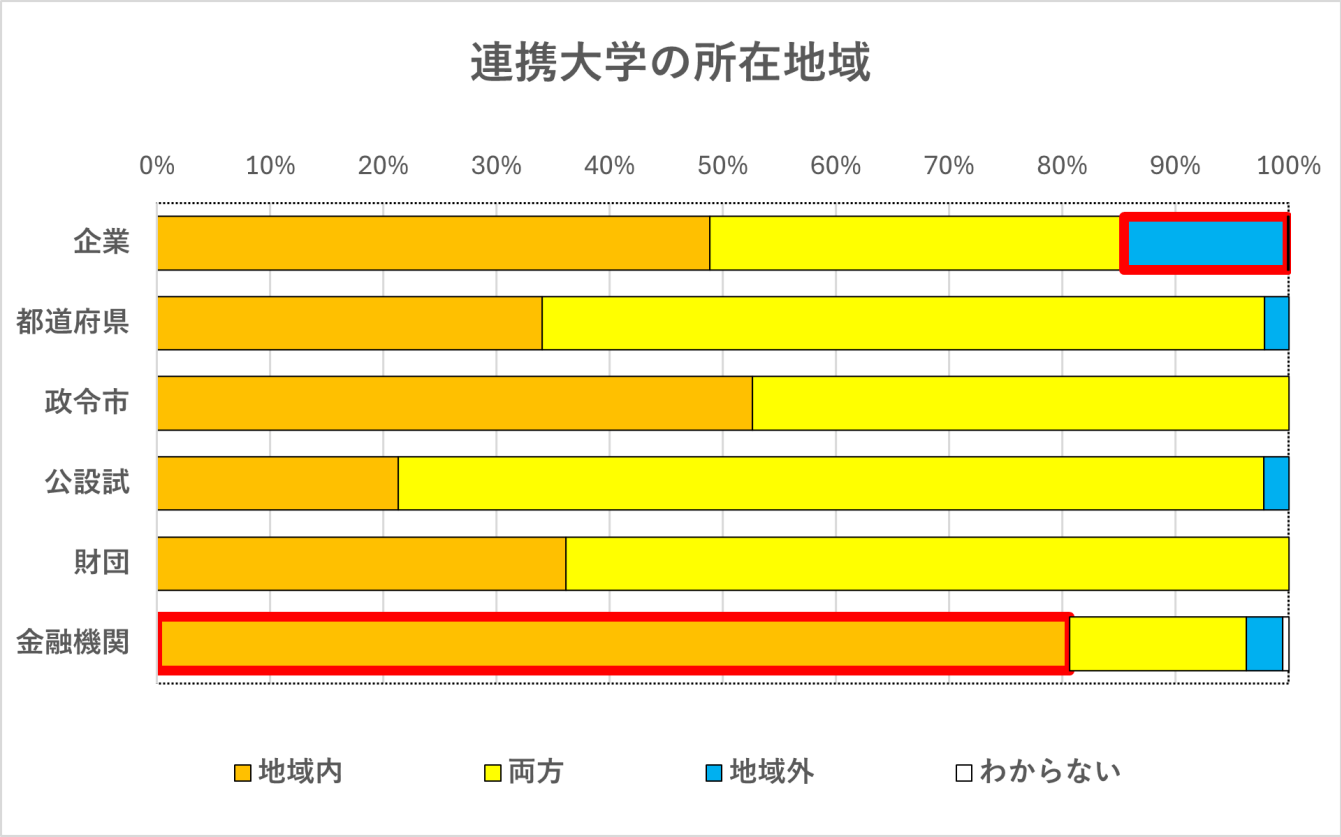


大学の地域貢献に関する意識調査

個々に見ると、地域外の大学のみと連携していると回答したのは企業が約１５％と一番多く、地域内の大学のみと連携していると回答したのは金融機関が約８０％と一番多かった。

Q:連携（接点・関わりを持ったこと）した大学は、地域内と地域外のいずれに所在しますか。

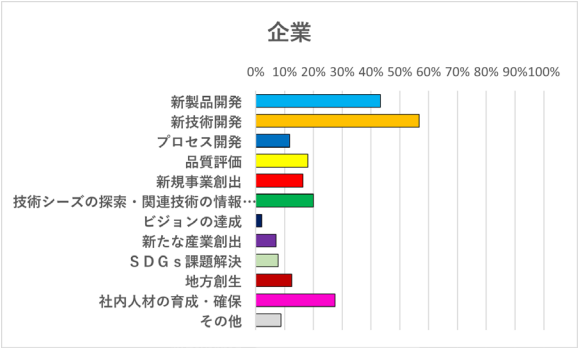
ここでの「地域」とは貴機関が所在する都道府県を言います。

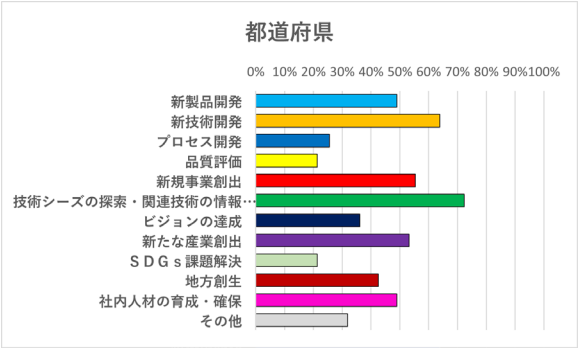


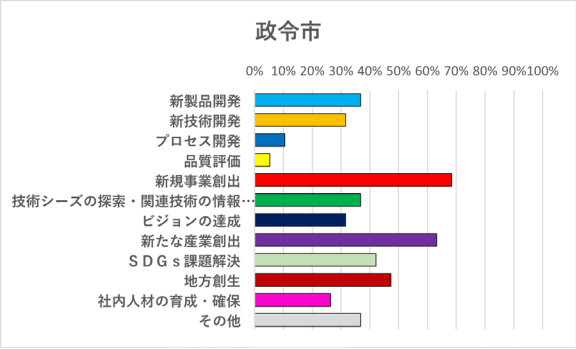
大学の地域貢献に関する意識調査

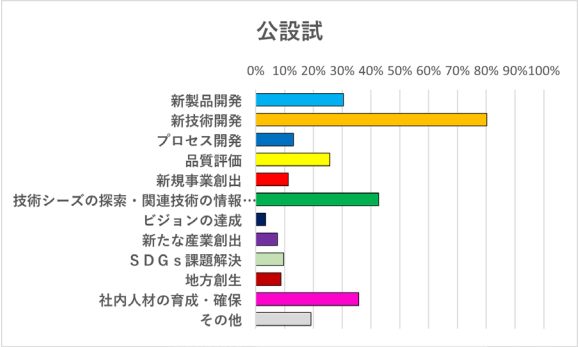
連携した実績を有する各機関において、大学と連携した目的を確認した。

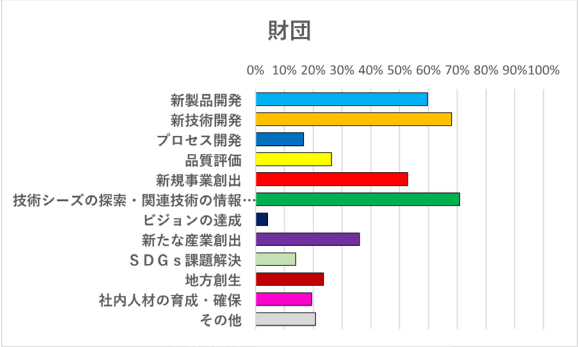
Q:主にどのようなことを目的に大学と連携してきましたか。（**あてはまるものをすべてチェックしてください。**） ※複数選択

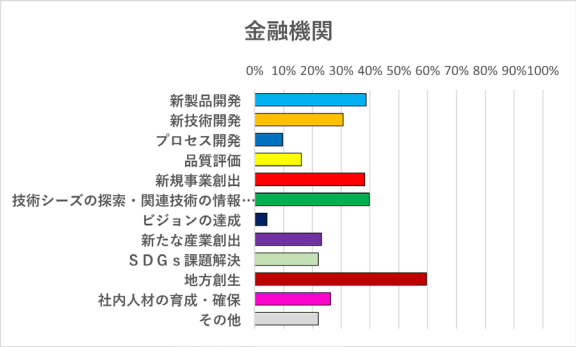








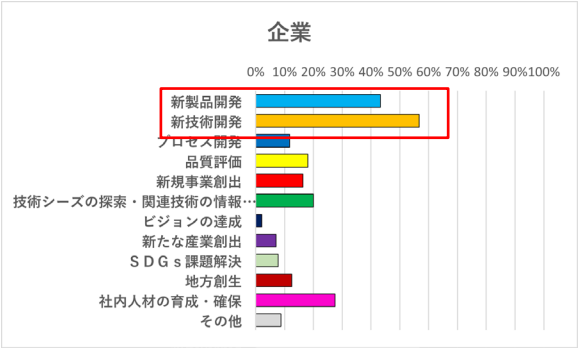


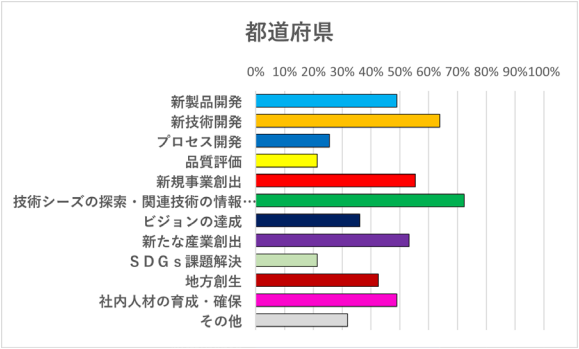


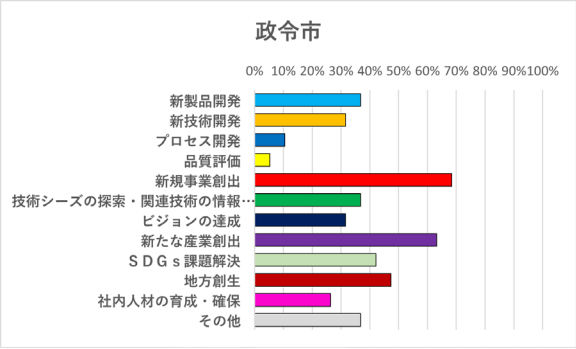
大学の地域貢献に関する意識調査

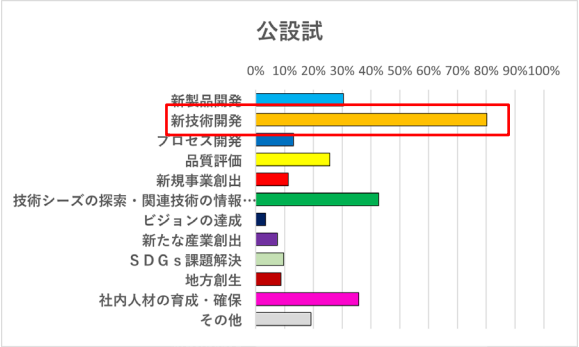
企業においては、ビジネスに直結する連携が多く、公設試は新技術開発に関する連携が多い。また、金融機関に関しては地方創生を目的とした連携が多かった。

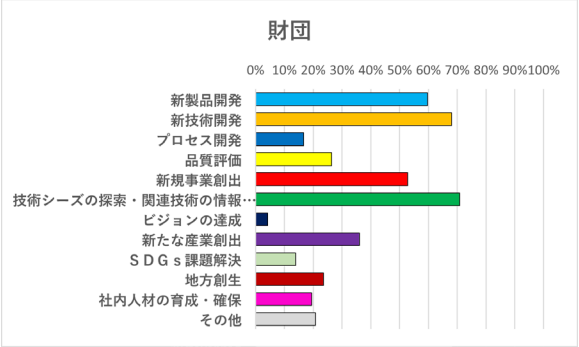
Q:主にどのようなことを目的に大学と連携してきましたか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。） ※複数選択

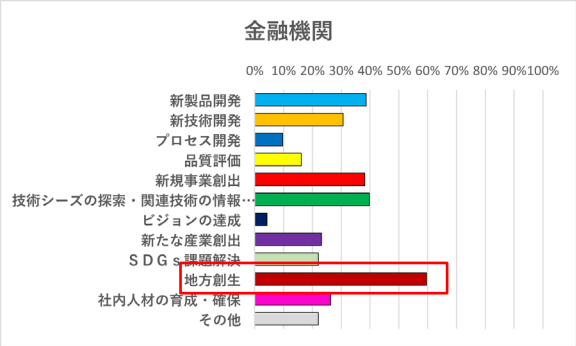












大学の地域貢献に関する意識調査

実際に行った大学との連携について質問し、以下のように各群でとりまとめた。

Q:大学との連携はどのようなものでしたか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。） ※複数選択

A群：知の活用
共同研究、調査・研究委託、技術相談・学術指導、国や地方自治体の補助金によるプロジェクト、講演依頼

B群：成果の活用
特許・ノウハウの活用、成果物の活用、大学発ベンチャーとの連携

C群：設備・機器の活用
設備・機器の利用

D群：ネットワークの活用
コンソーシアム・研究会への参加、シンポジウム・セミナーへの参加

E群：人材育成・人材確保
研究人材の確保、人材交流・人材育成、インターンシップ、採用

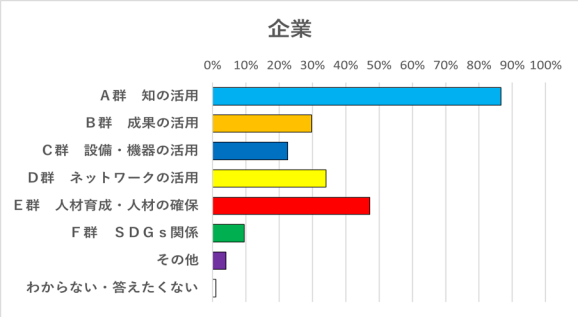
F群：SDGs関係
SDG s に向けた取組

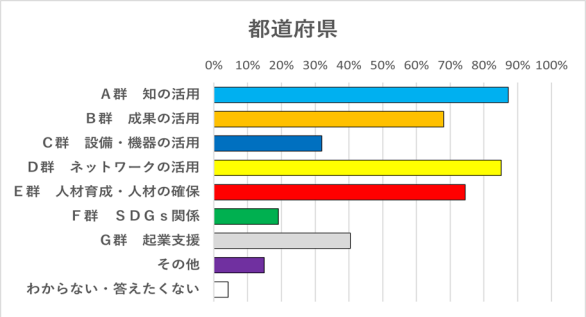
G群：起業支援
起業支援に向けた取組　※企業の選択肢には含めていない

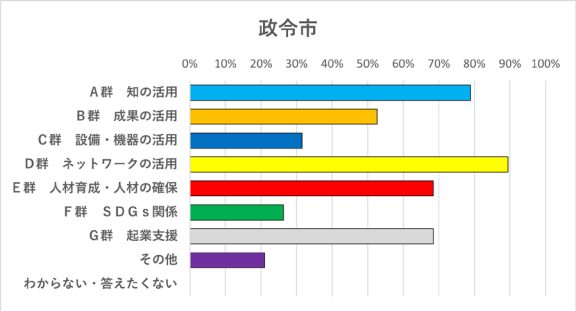
大学の地域貢献に関する意識調査

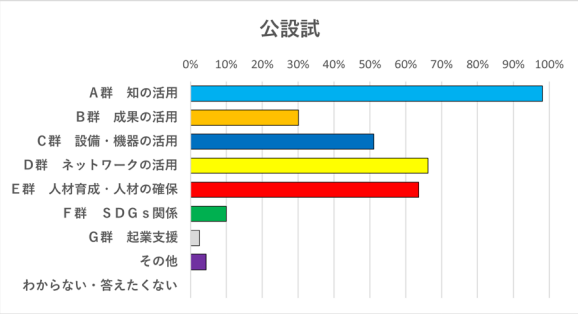
各機関区分ともA群知の活用を目的としたものが多く、B群成果の活用、D群ネットワークの活用、E群人材育成・人材の確保等での連携も多い傾向にあった。

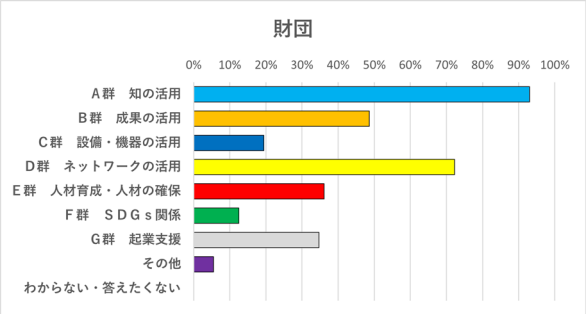
Q:大学との連携はどのようなものでしたか。（あてはまるものをすべてチェックしてください。）※複数選択

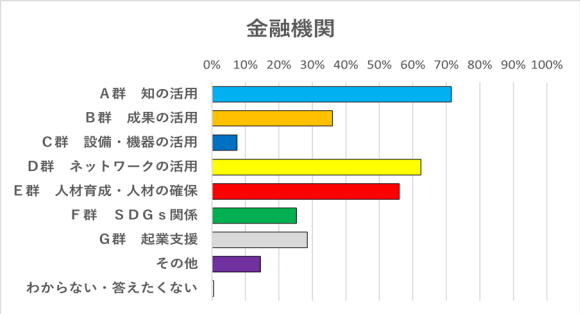








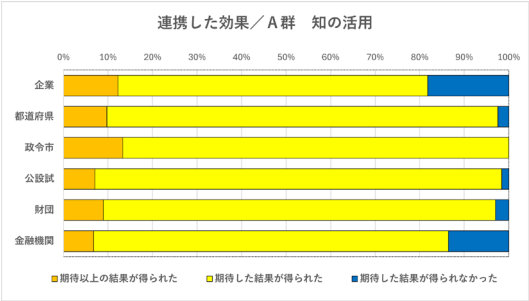


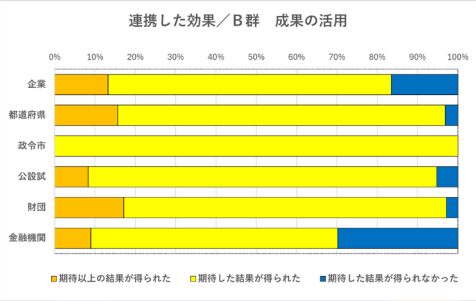


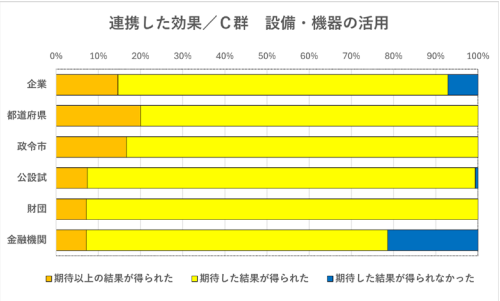
大学の地域貢献に関する意識調査

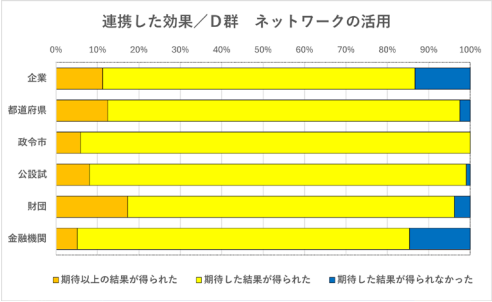
各連携において各機関区分それぞれで７割以上が「期待した結果が得られた」または「期待以上の結果が得られた」との回答であった。

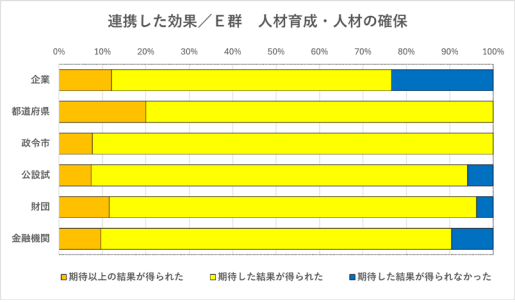
Q:大学と連携した結果は如何でしたか。

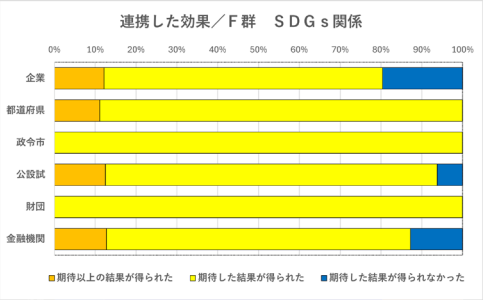


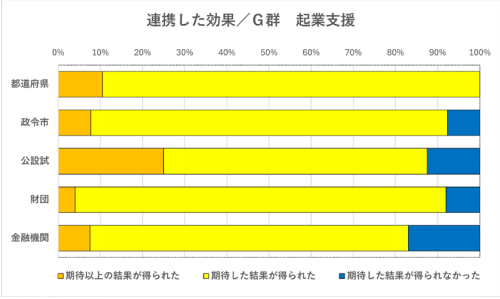


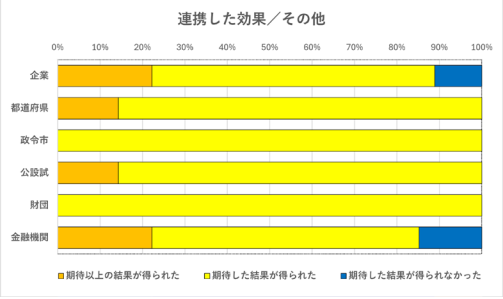








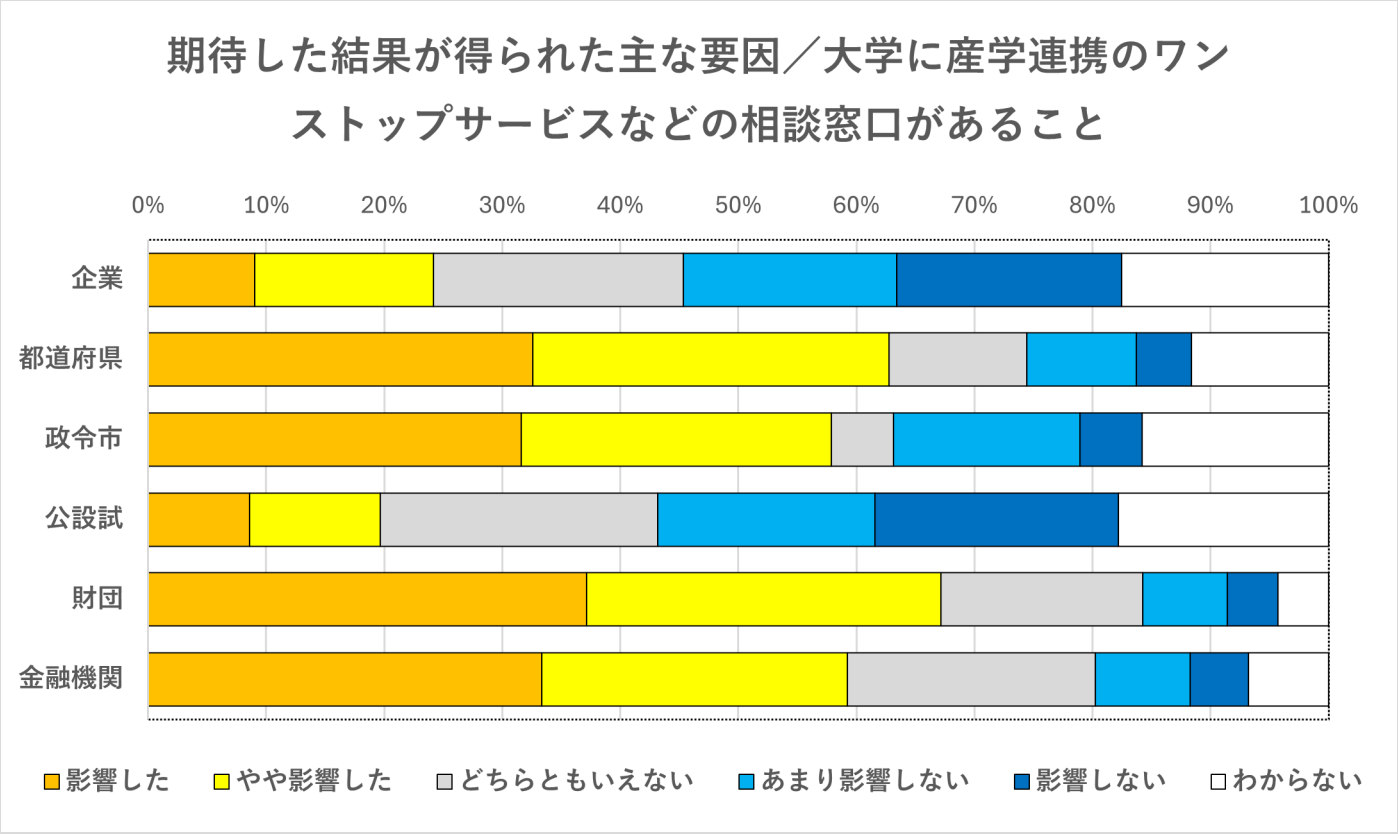




大学の地域貢献に関する意識調査

✓ **期待した結果が得られた要因**

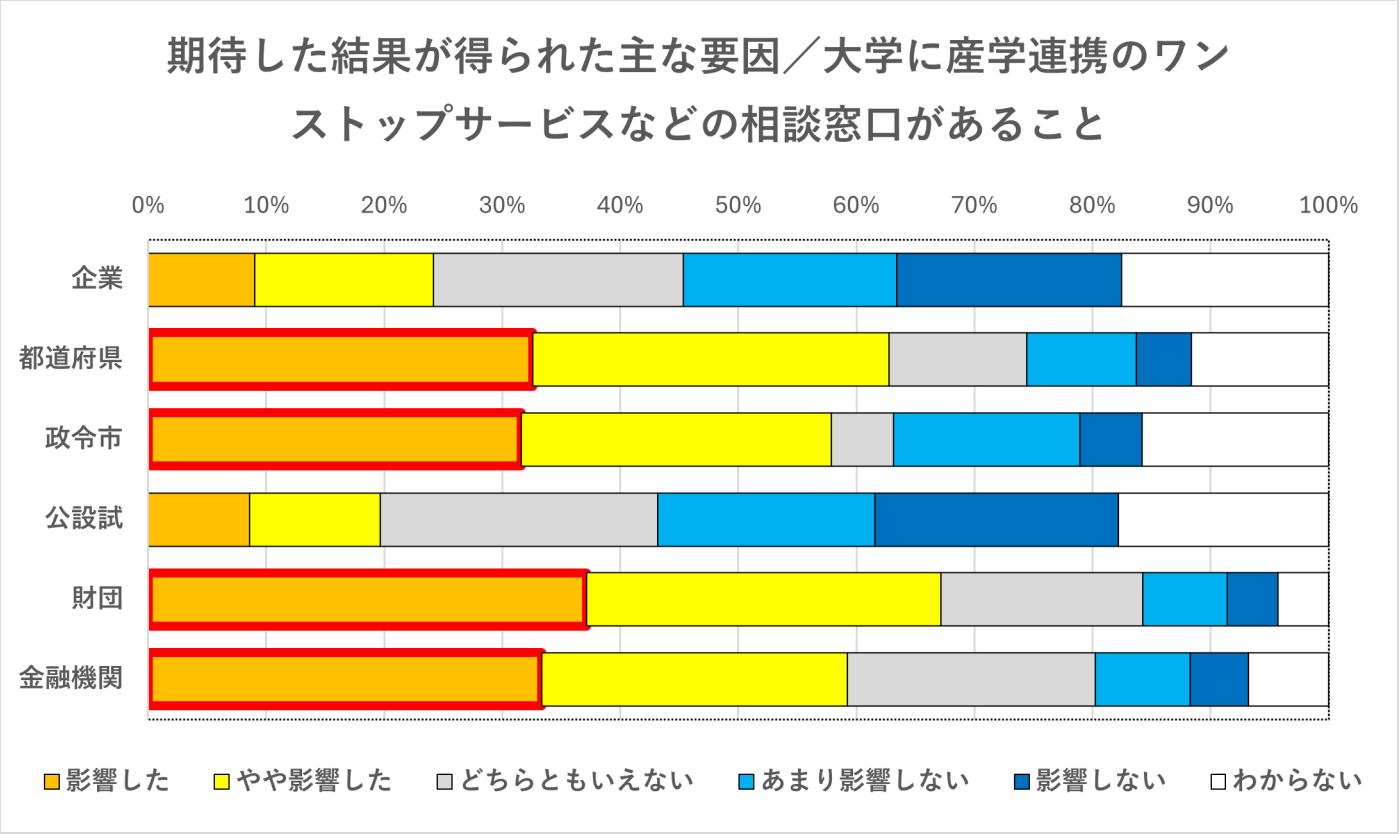
Q:大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。「① 大学に産学連携のワンストップサービスなどの相談窓口があること」



大学の地域貢献に関する意識調査

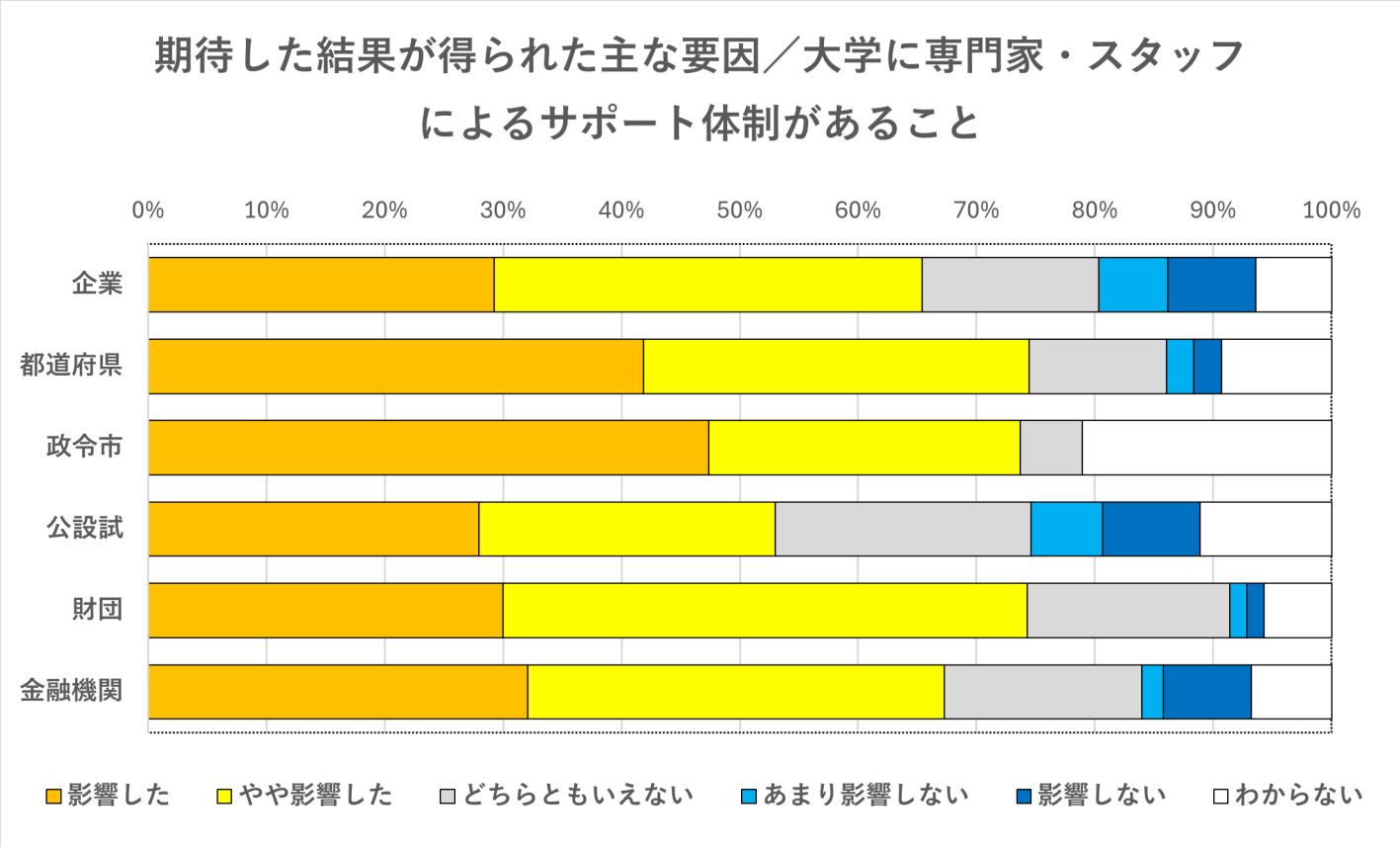
ワンストップサービスなどの相談窓口については、自治体、財団、金融機関などが「影響した」と回答した割合が３０％を超えた。

Q:大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。「① 大学に**産学連携のワンストップサービスなどの相談窓口**があること」



大学の地域貢献に関する意識調査

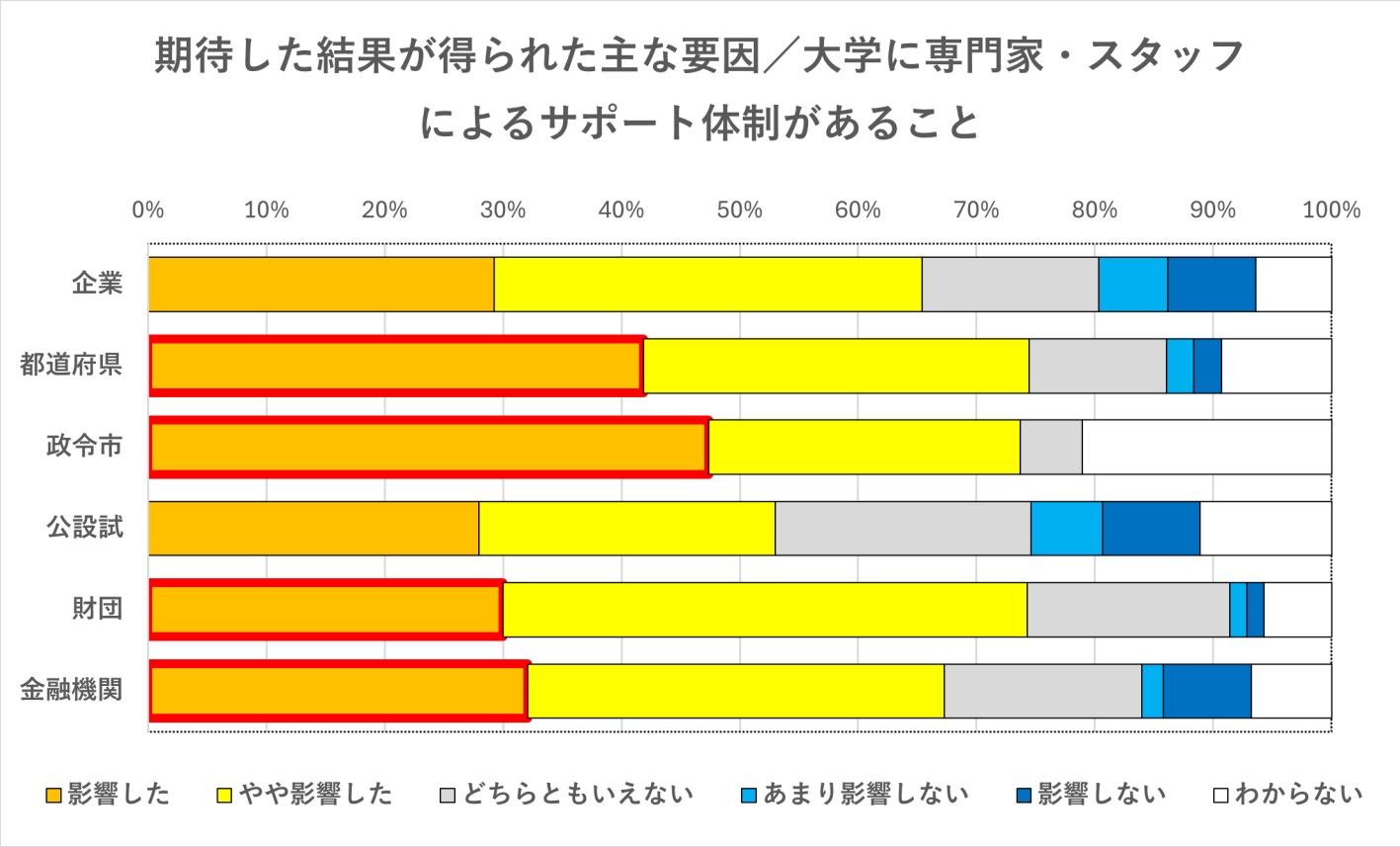
Q:大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。「⑥ 大学に専門家・スタッフによるサポート体制があること」



大学の地域貢献に関する意識調査

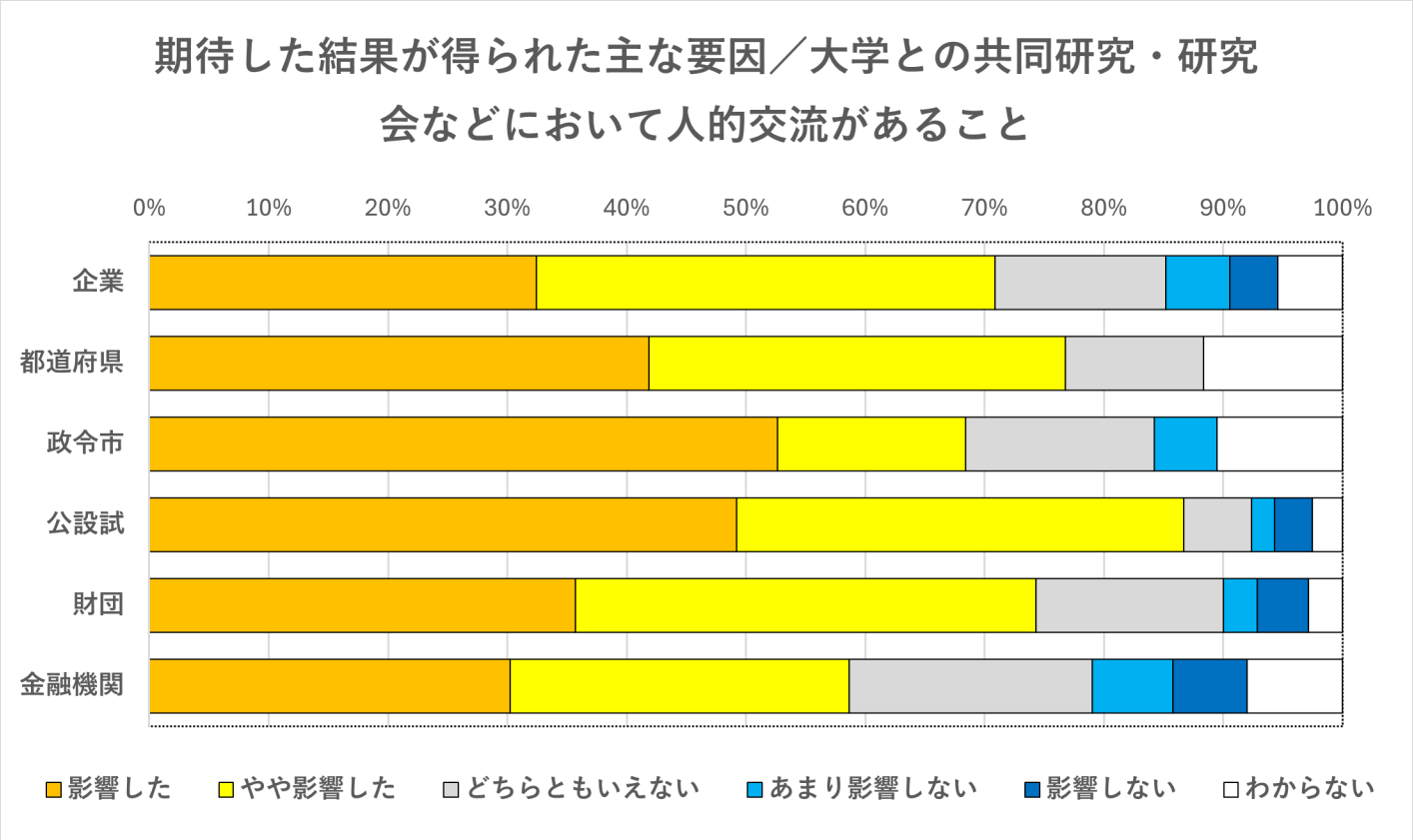
大学の専門人材についても、自治体、財団、金融機関などが「影響した」と回答した割合が３０％を超えた。

Q:大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。「⑥ 大学に**専門家・スタッフによるサポート体制**があること」



大学の地域貢献に関する意識調査

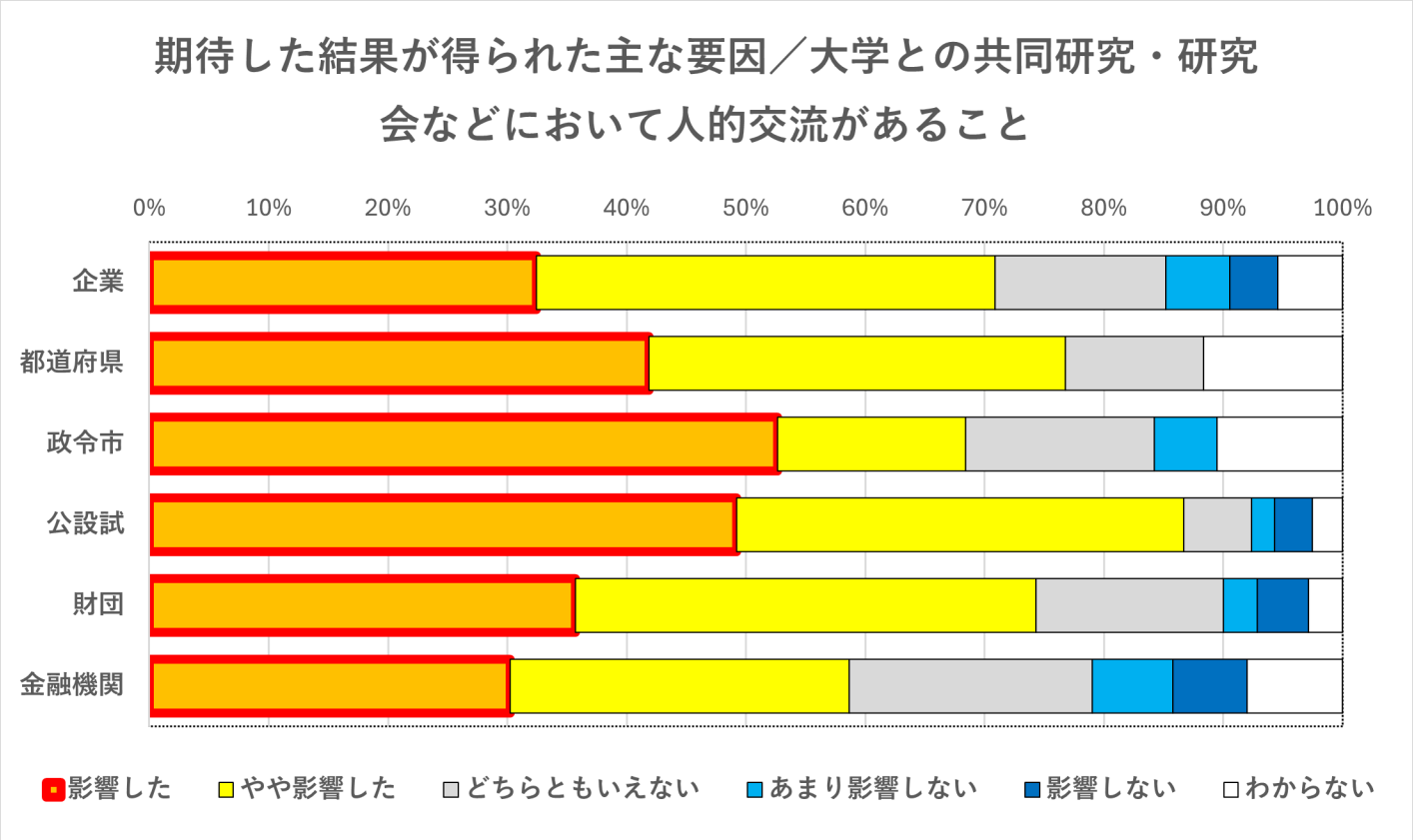
Q:大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。「⑦ 大学との共同研究・研究会などにおいて人的交流があること」



大学の地域貢献に関する意識調査

人的交流の有無に関しては、すべての機関区分で３０％を超えて「影響した」との回答だった。

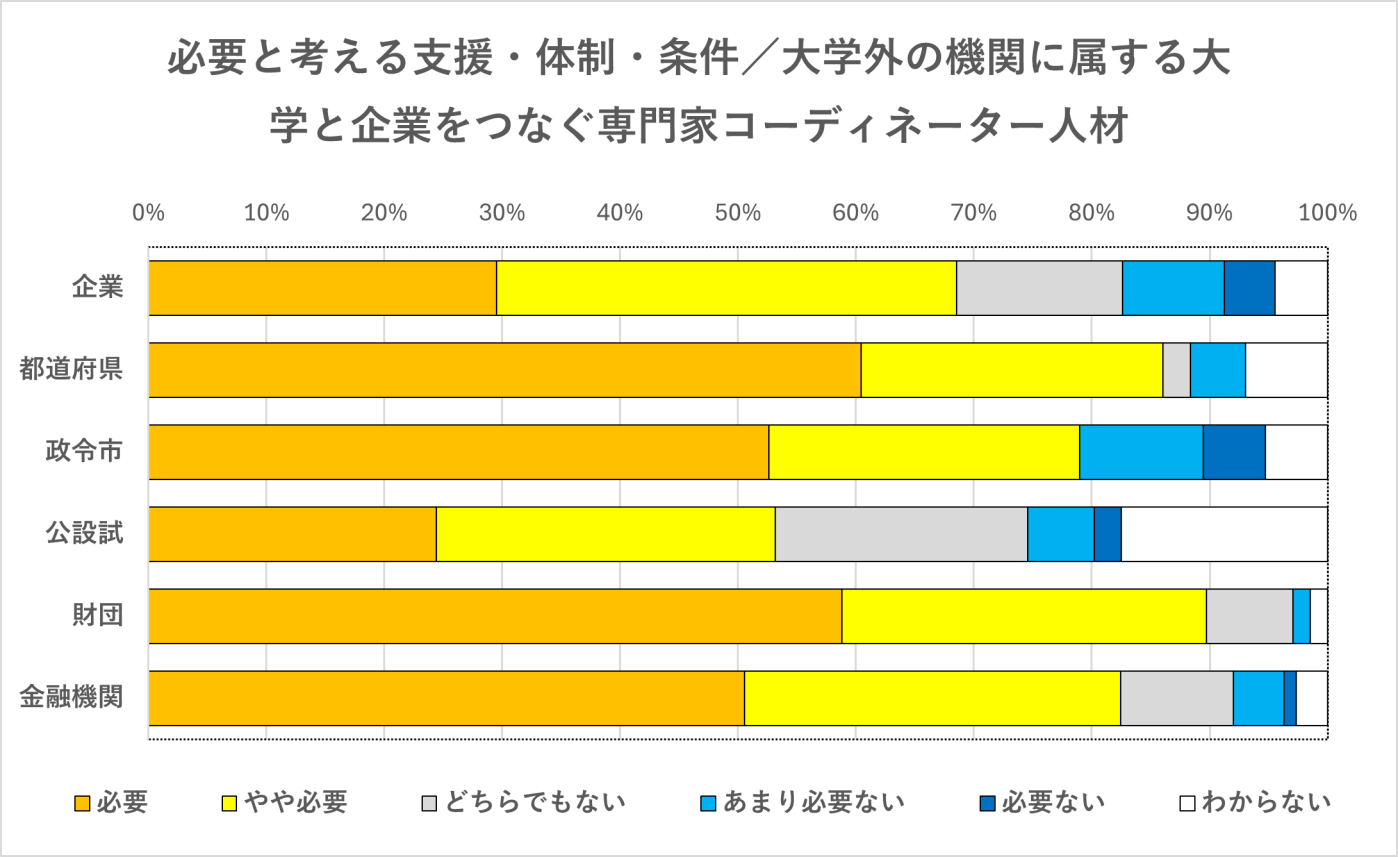
Q:大学との連携で、期待した結果が得られた主な要因にはどのようなことがありますか。「⑦ 大学との共同研究・研究会などにおいて人的交流があること」



大学の地域貢献に関する意識調査

✓ 大学との連携において、**必要と考える支援・体制・条件等**

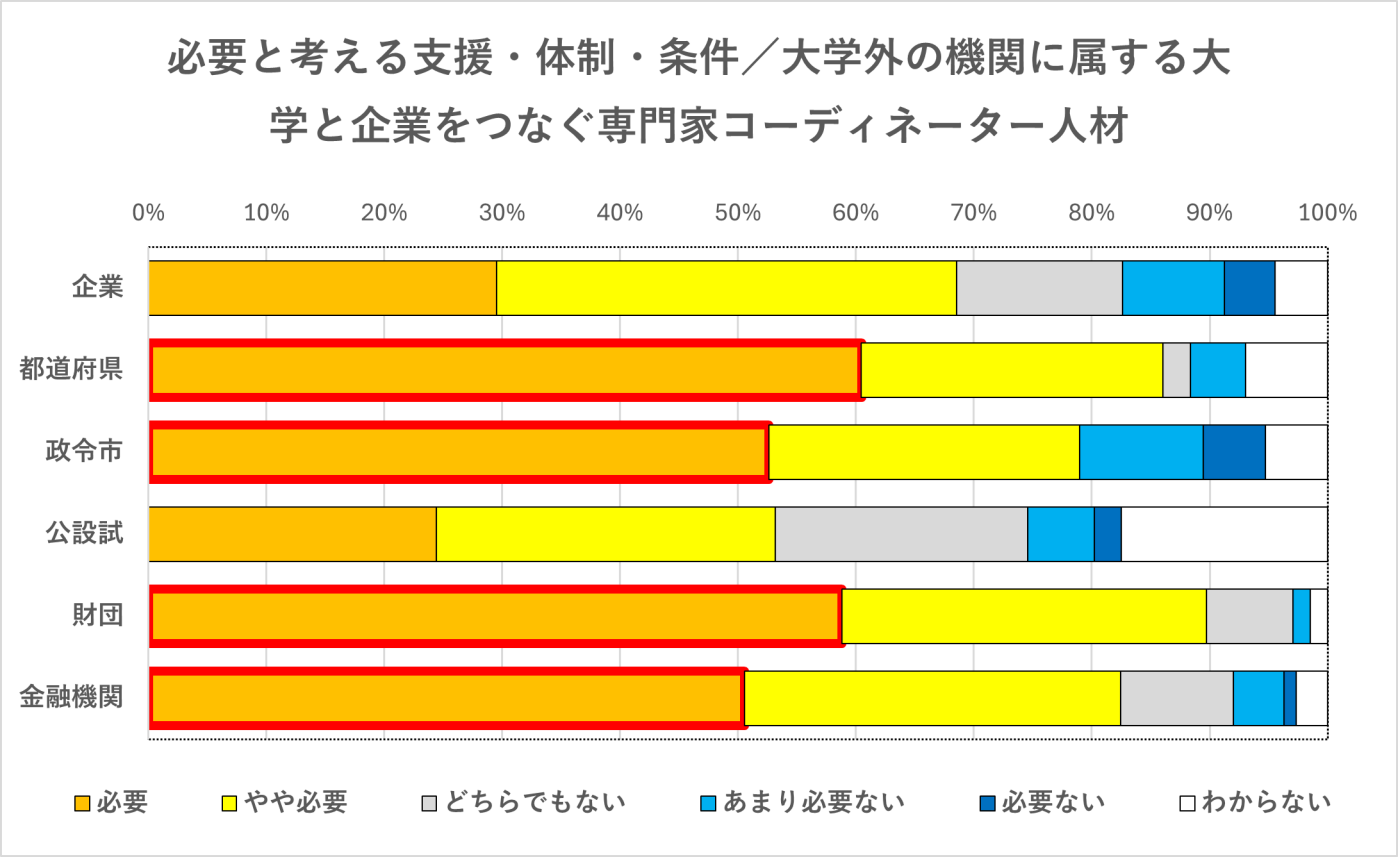
Q:将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。「② 大学外の機関に属する大学と企業をつなぐ**専門家コーディネーター人材**」



大学の地域貢献に関する意識調査

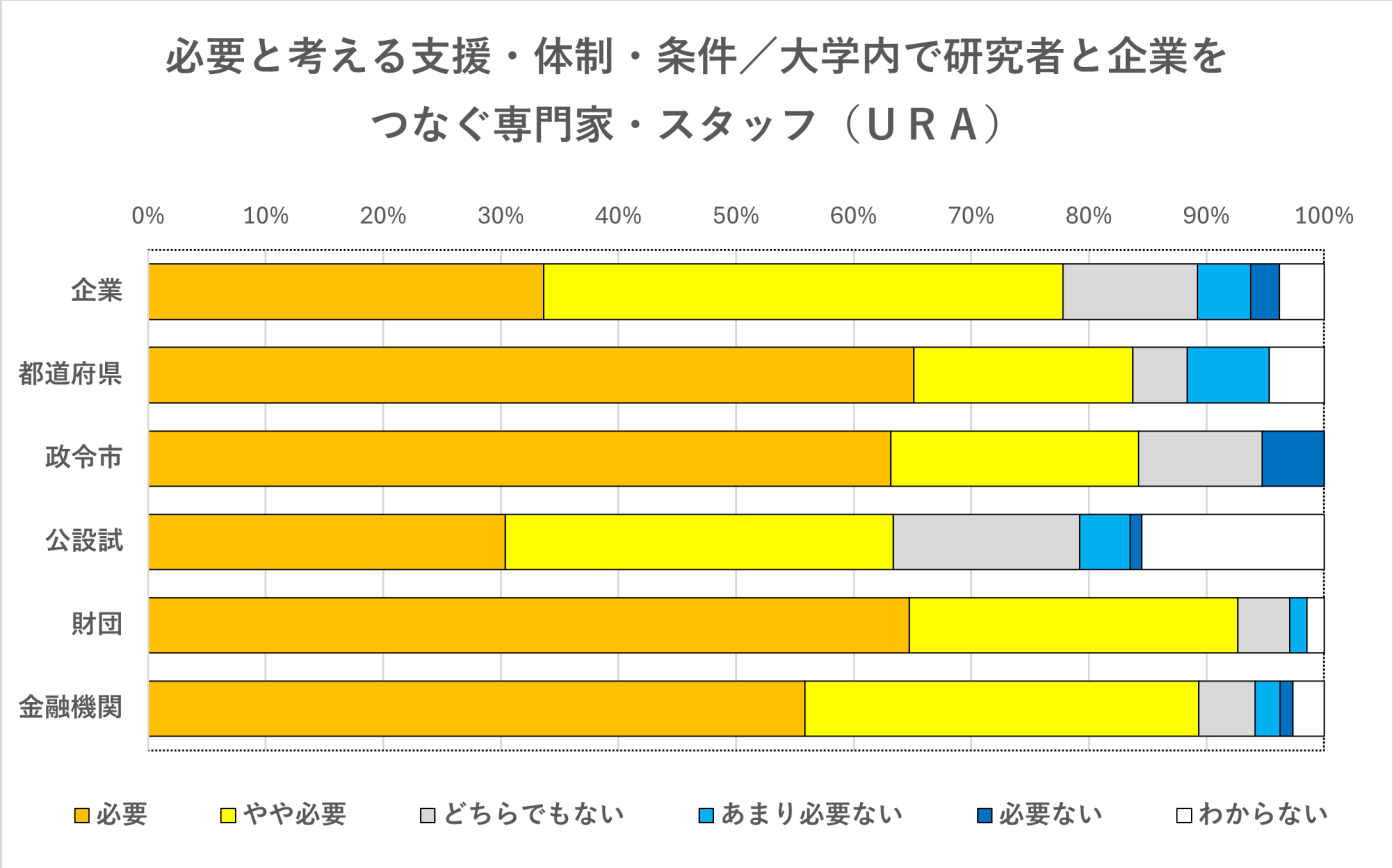
大学外の専門家コーディネーター人材については、自治体、財団、金融機関などが「必要」と回答した割合が５０％を超えた。

Q:将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。「② 大学外の機関に属する大学と企業をつなぐ専門家コーディネーター人材」



大学の地域貢献に関する意識調査

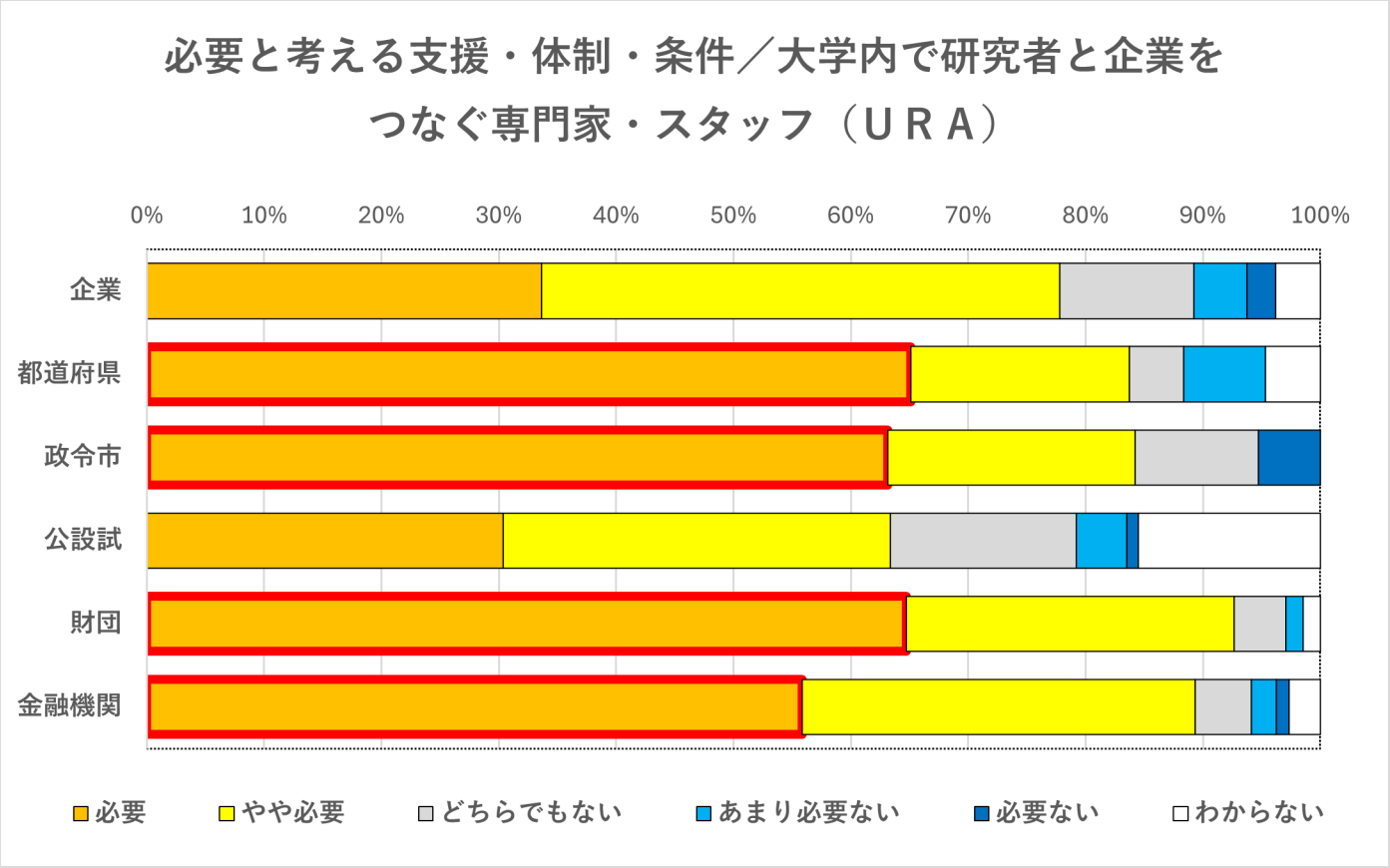
Q:将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。「③ 大学内で研究者と企業をつなぐ専門家・スタッフ（URA）」



大学の地域貢献に関する意識調査

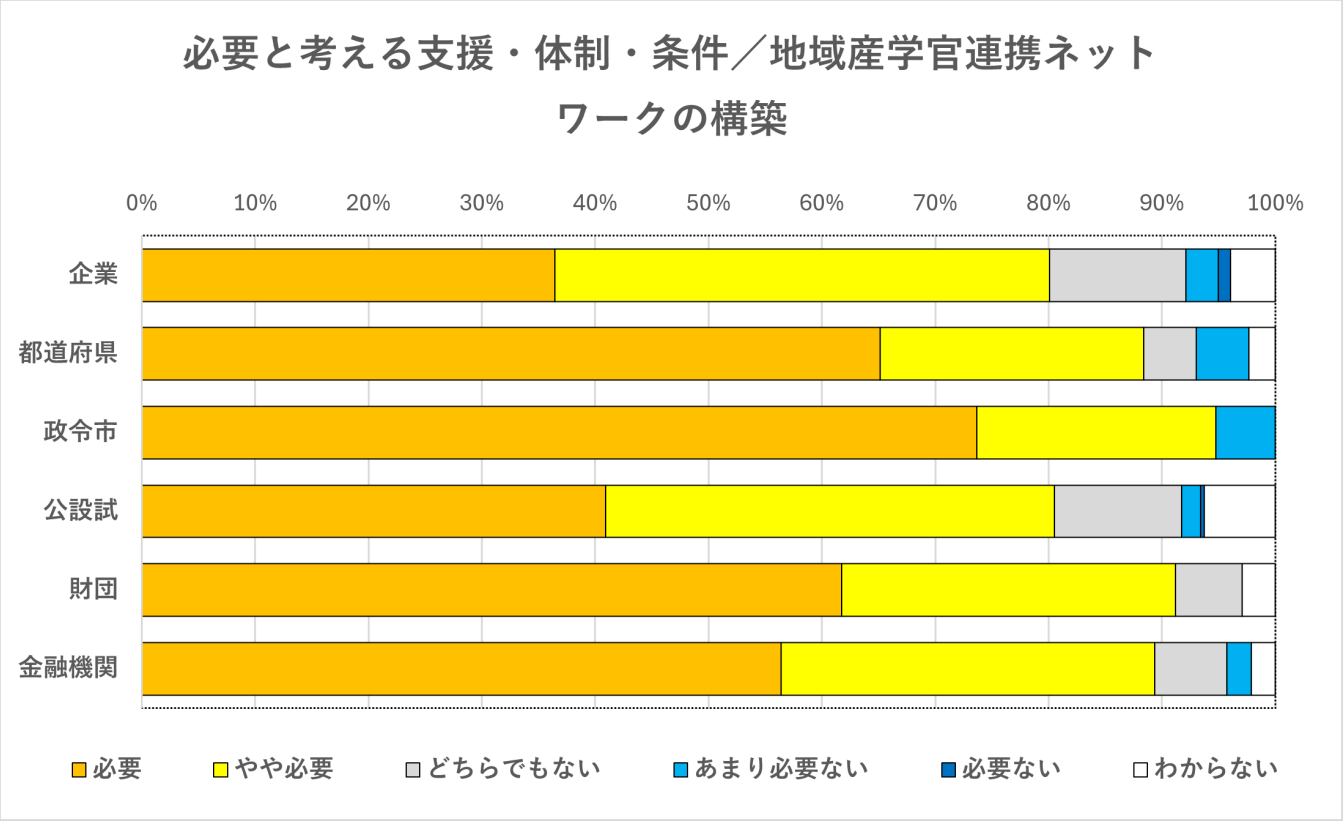
大学内の専門家・スタッフ（URA）についても、自治体、財団、金融機関などが「必要」と回答した割合が５０％を超えた。

Q:将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。「③ 大学内で研究者と企業をつなぐ**専門家・スタッフ（URA）**」



大学の地域貢献に関する意識調査

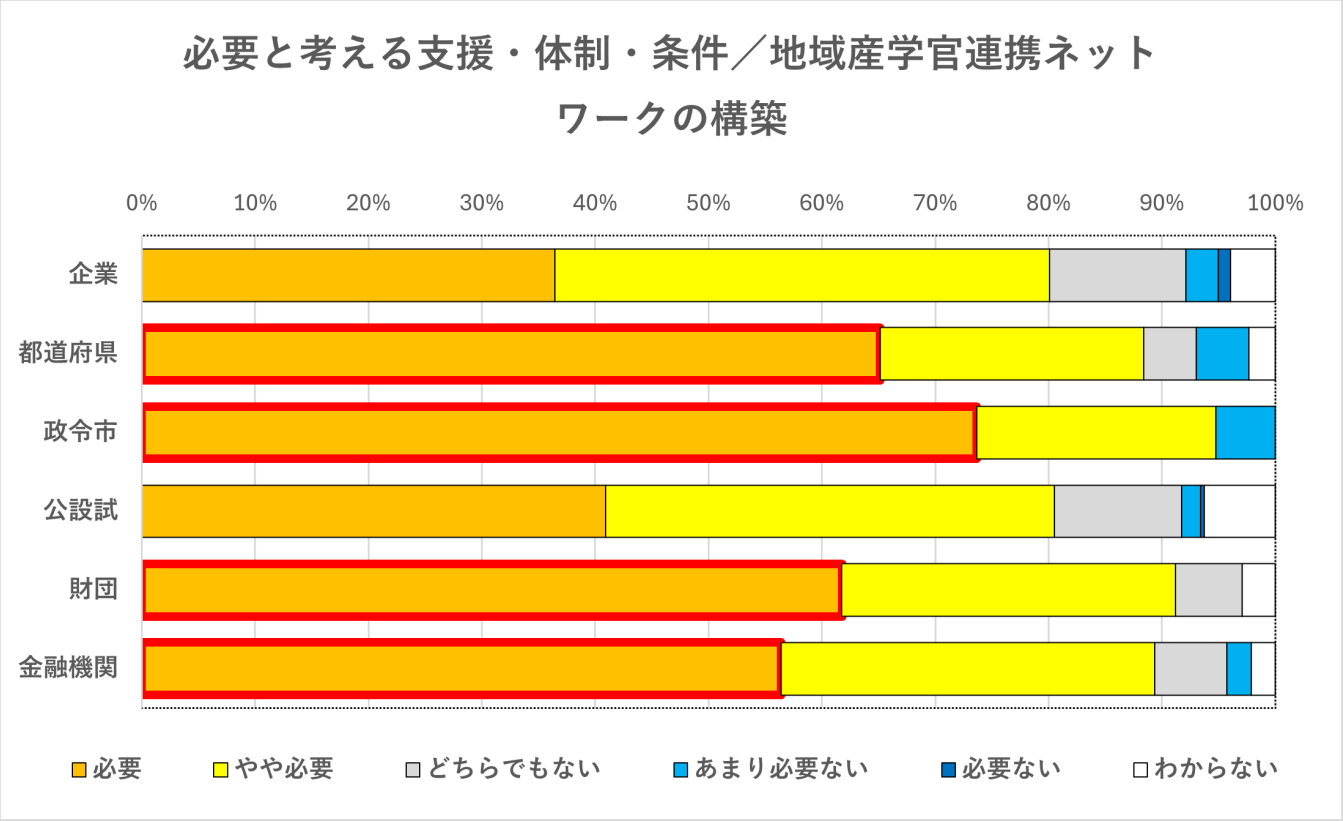
Q:将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。「⑨ **地域産学官連携ネットワーク**の構築」



大学の地域貢献に関する意識調査

地域産学官連携ネットワークについても、自治体、財団、金融機関などが「必要」と回答した割合が５０％を超えた。

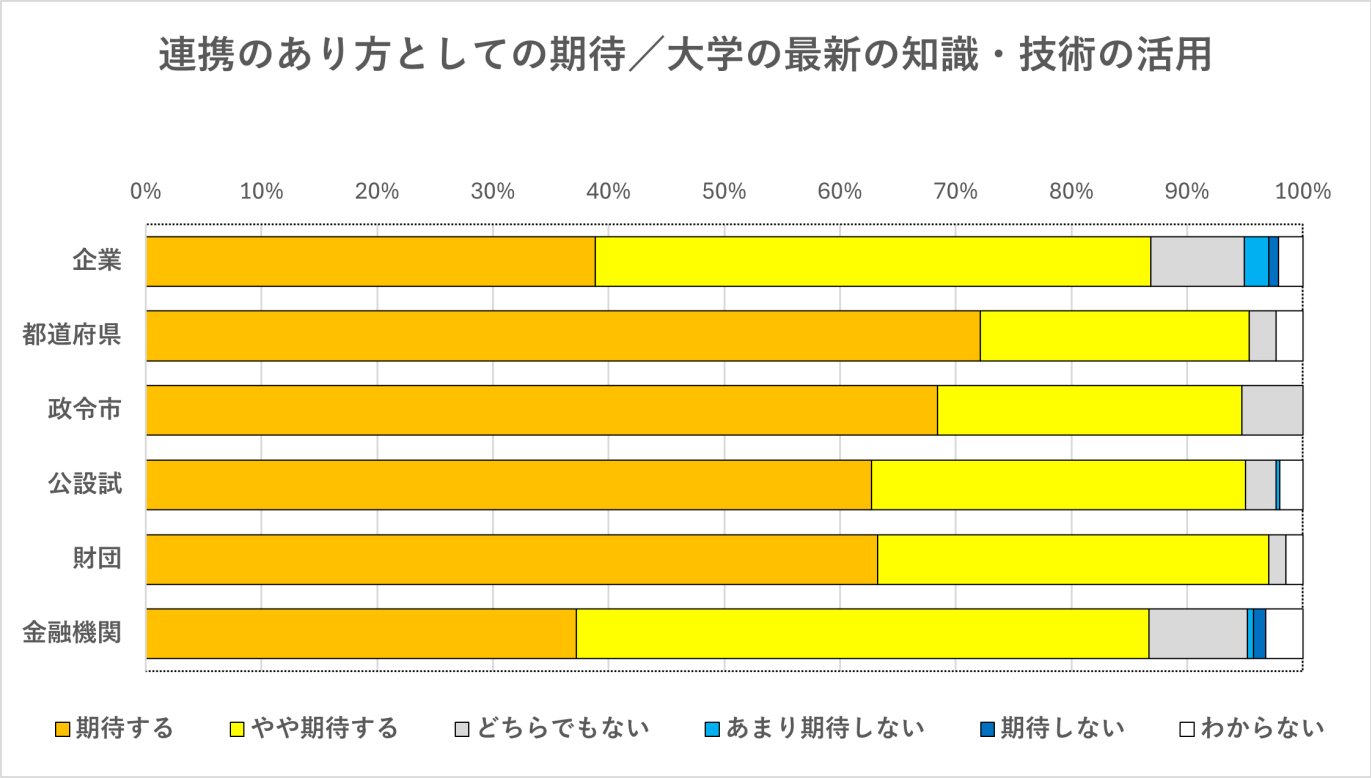
Q:将来、大学との連携を検討するあたり、どのような支援・体制・条件が必要とお考えですか。「⑨ **地域産学官連携ネットワーク**の構築」



大学の地域貢献に関する意識調査

✓ 大学への期待

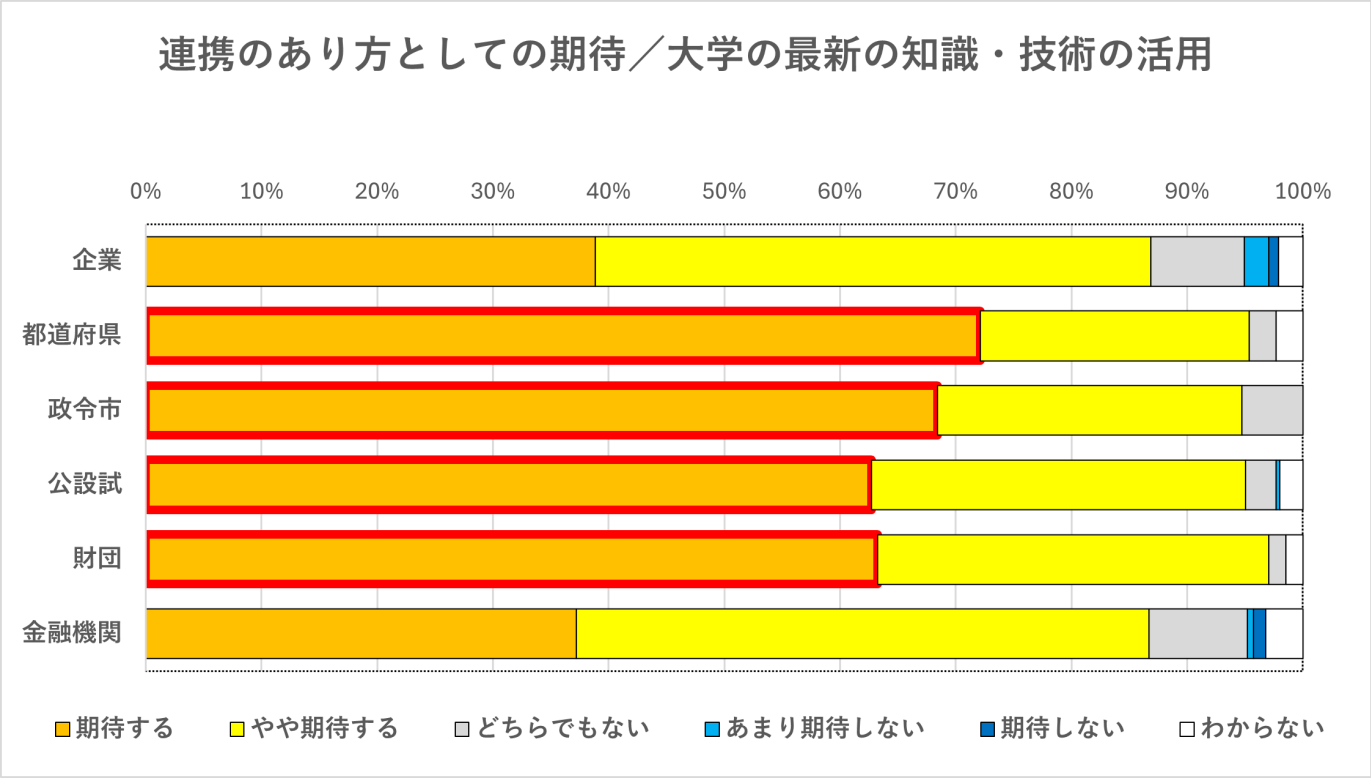
Q:地方創生のハブを担う大学との連携のあり方として、貴社はどのようなことを期待しますか。「② 大学の最新の知識・技術の活用」



大学の地域貢献に関する意識調査

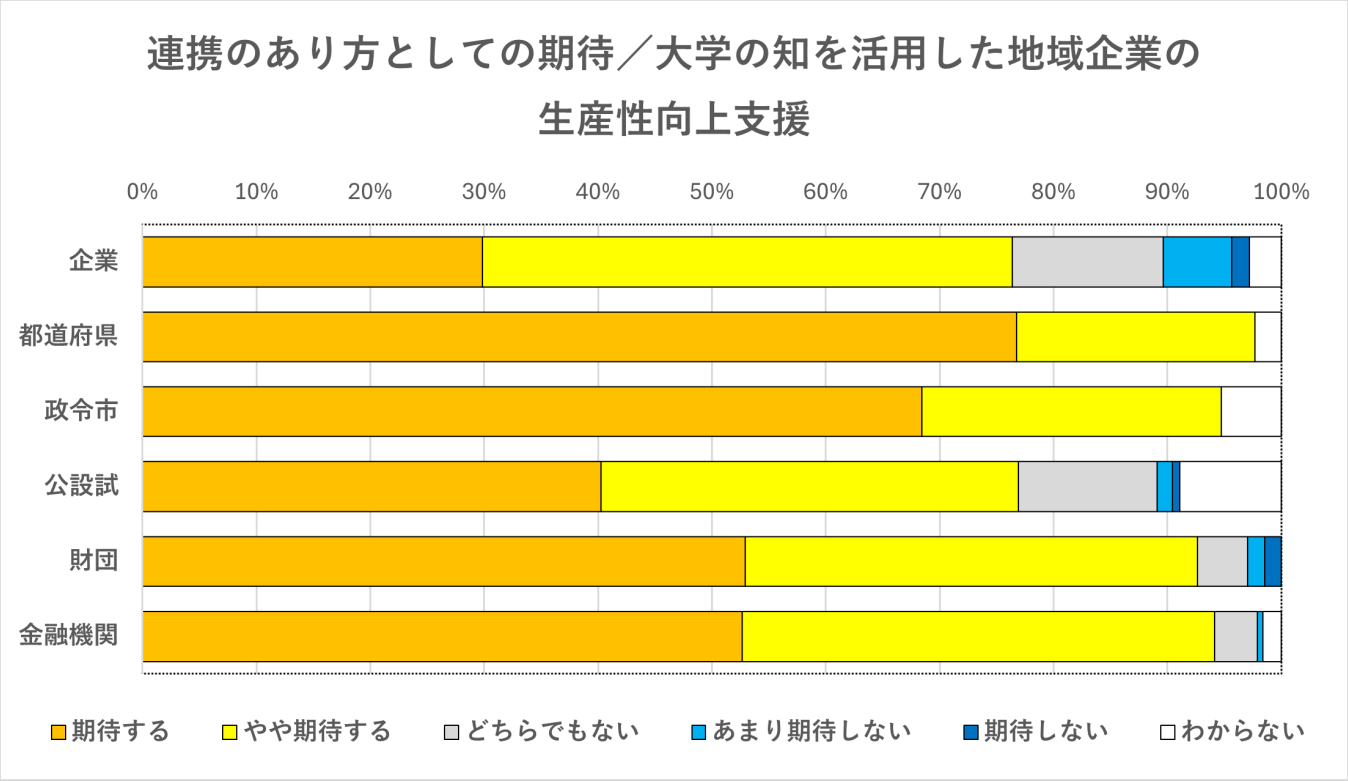
大学の最新の知識・技術の活用について、自治体、公設試、財団などが「期待する」と回答した割合が６０％を超えた。

Q:地方創生のハブを担う大学との連携のあり方として、貴社はどのようなことを期待しますか。「② 大学の最新の知識・技術の活用」



大学の地域貢献に関する意識調査

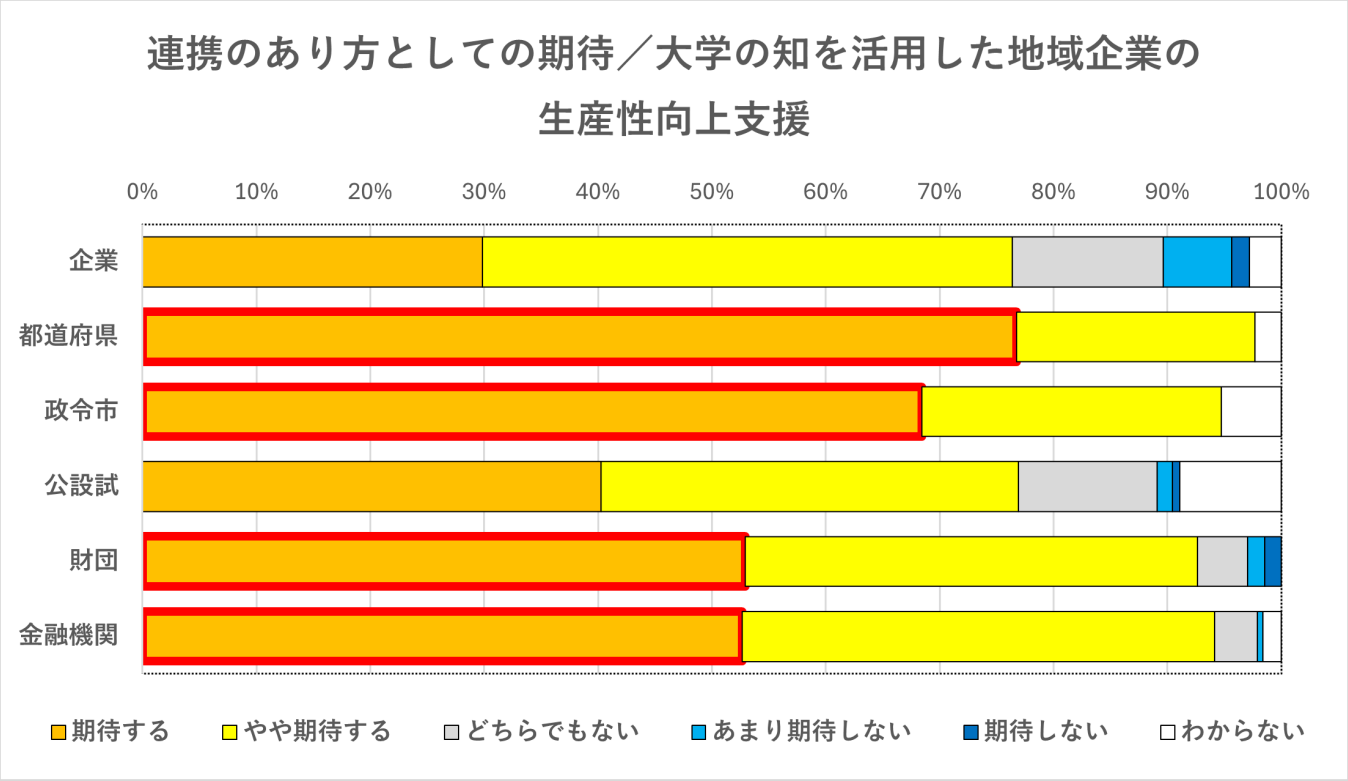
Q:地方創生のハブを担う大学との連携のあり方として、貴社はどのようなことを期待しますか。「④ 大学の知を活用した生産性向上支援」



大学の地域貢献に関する意識調査

大学の知を活用した生産性向上支援については、自治体、財団、金融機関などが「期待する」と回答した割合が５０％を超えた。

Q:地方創生のハブを担う大学との連携のあり方として、貴社はどのようなことを期待しますか。「④ 大学の知を活用した生産性向上支援」



まとめ

- 産学官連携において、大学は各機関の期待に概ね応えており、**地域貢献している**と言える
- 指標となりうる項目
  - ・専門人材の配置（人数、組織体制）
  - ・サポート体制（機能、取組）
  - ・人的交流（産官学ネットワークなど）
  - ・大学の知の活用を促進する取組

↓

- ヒアリング調査を行う事で、上記指標候補の適性検討と、上記以外で地域貢献の指標となりうる項目を探っていく。
- また、ヒアリング調査では、産学官連携以外の要因も含め地域イノベーションの成功要因等の分析を行っていく予定。

NISTEP
NATIONAL INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY POLICY

ご清聴ありがとうございました。